設定原画集

目次

登場人物

キャラクター

鬼宿
たま ほめ
鬼宿
CV. 宮野 真守
格闘技を得意とする朱雀七星士
の一人。
お金に執着している。
17歳。

星宿
ほと ほり
星宿
CV.小西 克幸
剣術を得意とする朱雀七星士の一人。
紅南国の皇帝。
18歳。

柳宿
柳宿（ぬりこ）
CV. 皆川　純子
怪力を誇る朱雀七星士の一人。
乙女の心を持つが、れっきとした男性。
18歳。

井宿
井宿
ちちり
CV．宮田 幸季
様々な仙術を操る朱雀七星士の一人。
陽気な性格だが、傷を負った素顔を仮面の下に隠している。
24歳。

翼宿
翼宿
CV.鳥海 浩輔
鬼宿と共に前線で戦う朱雀七星士の一人。
元は山賊で、炎を生み出す鉄扇が武器。
17歳。

軫宿（みつかけ）

CV. 三宅 健太

気の力で怪我や病気を治すことのできる朱雀七星士の一人。
包容力のある大人の男性。
22歳。

張宿（ちりこ）

CV.木村 亜希子

最年少ながら、智略に優れた朱雀七星士の一人。
七星士の証である字が消えると、ただの子供に戻る。
13歳。

鳳まどか
鳳まどか
『朱雀の巫女』として異世界に導かれた少女。
受験を間近に控えた中学３年生。
氷室深咲
氷室深咲
CV. 小野 涼子
主人公の同級生にして幼馴染み。
共に異世界に導かれ、『青龍の巫女』となる。

心宿
心宿（なかご）
CV.成田 剣
圧倒的な武力を誇る倶東国の将軍にして、青龍七星士の束ね役。
冷酷な策謀家でもある。
25歳。
角宿
角宿（すぼし）
CV.柿原 徹也
流星鍾という武器を操る青龍七星士の一人。
兄とは違って気性が激しい。
15歳。

亢宿（あみぼし）

CV.柿原　徹也

笛の音で生き物を操る青龍七星士の一人。

穏やかな性格。

角宿の双子の兄。

15歳。

房宿（そい）

CV.本名　陽子

風水術などを操る青龍七星士の一人。

心宿を慕っている。

19歳。

氐宿

氐宿(とも)

CV.中村 悠一

幻覚、幻影などの術を操る青龍七星士の一人。
他人をいたぶるのが趣味。
21歳。

箕宿

箕宿(みぼし)

CV.山内 奈緒

妖魔を操り、他人の身体を乗っ取って生きる、青龍七星士の一人。
年齢不詳。

尾宿

CV.乃村 健次

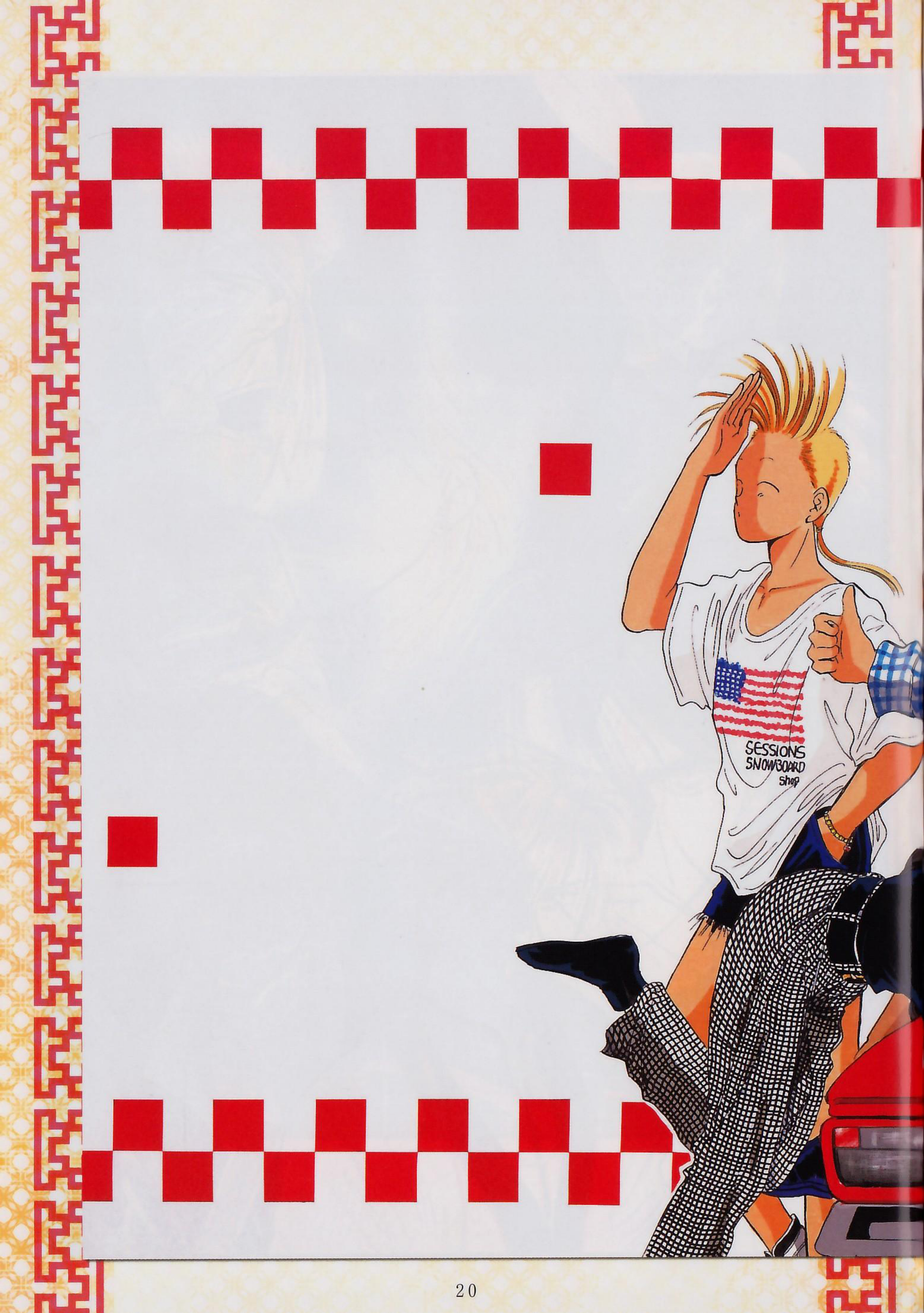
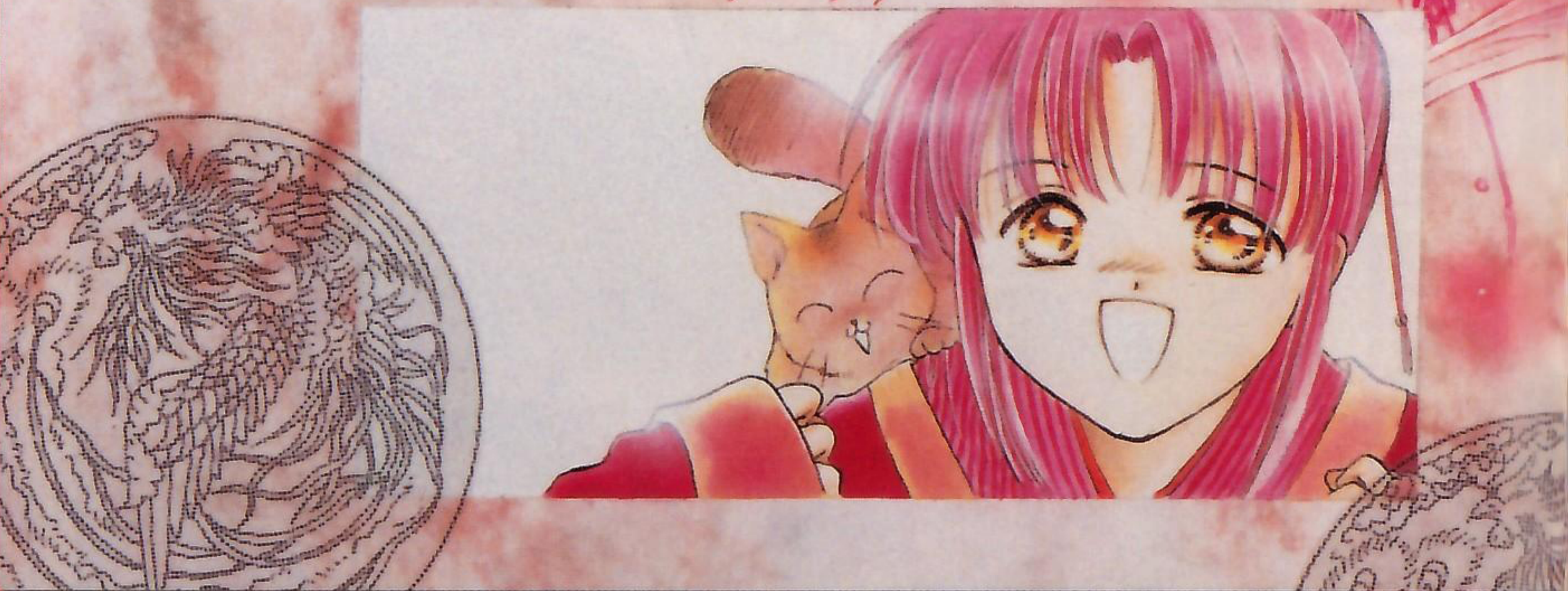
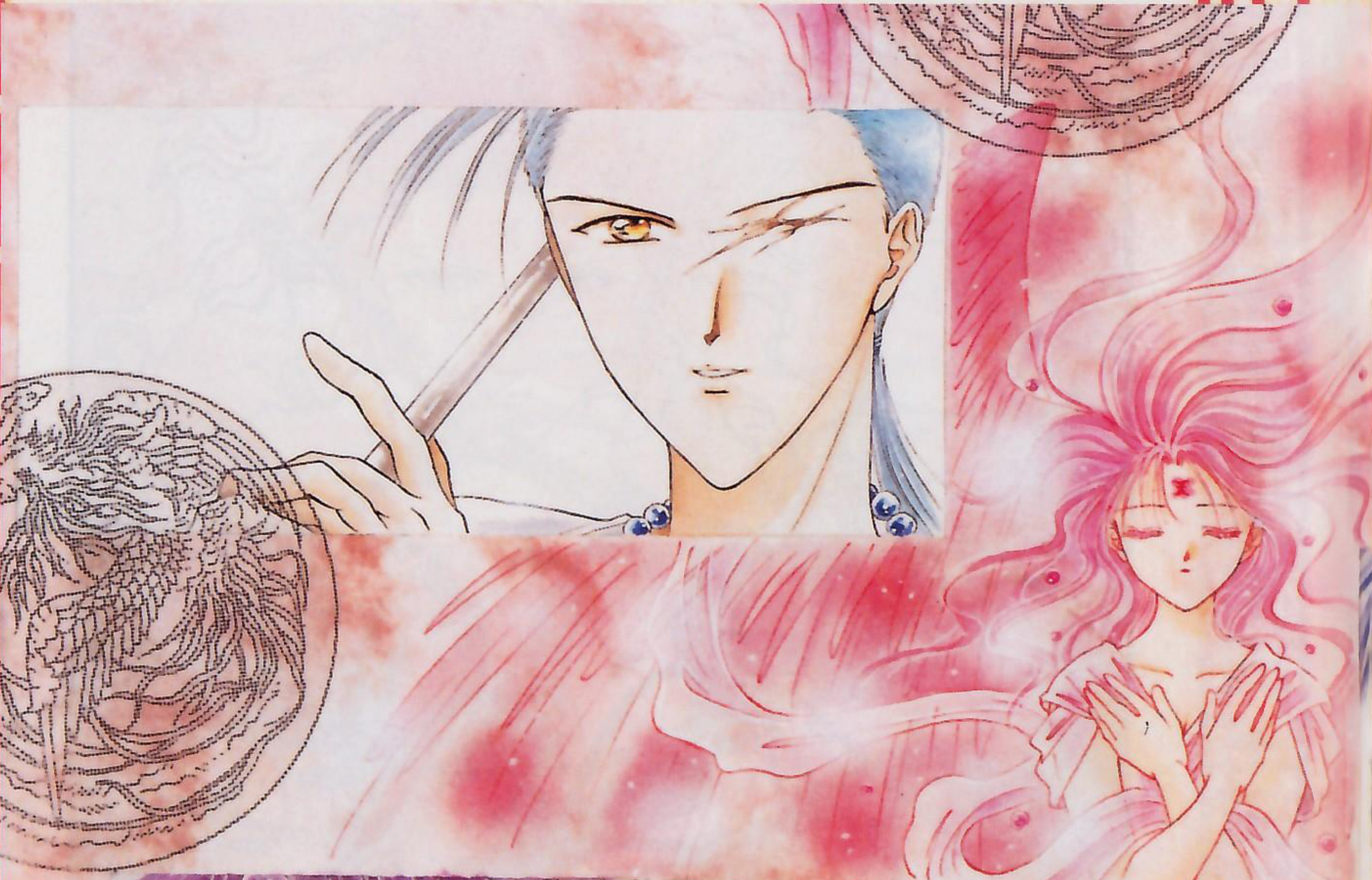
狼に変身できる青龍七星士の一人。
見世物小屋にいるところを心宿に拾われた。
年齢不詳。

太一君

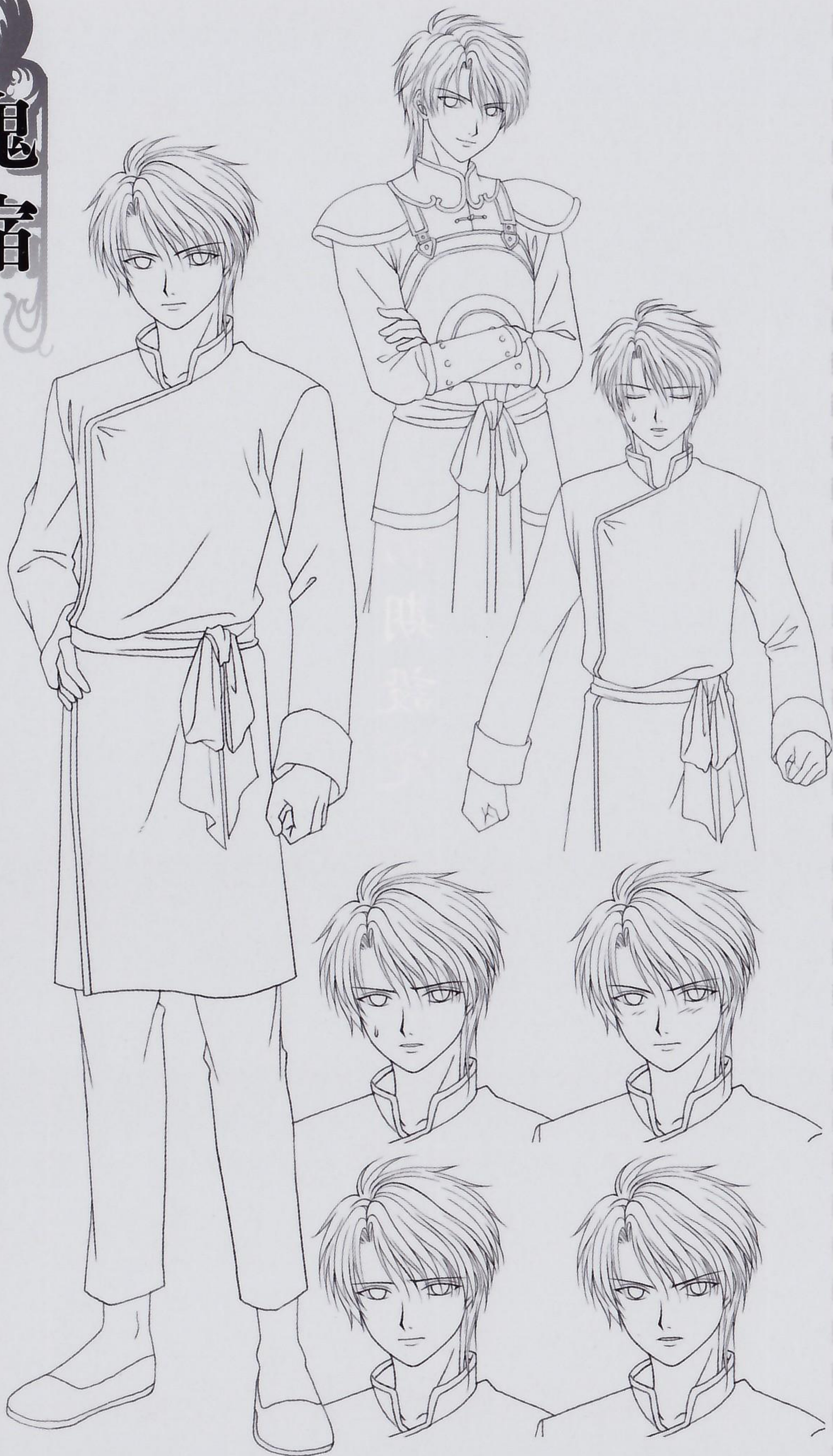
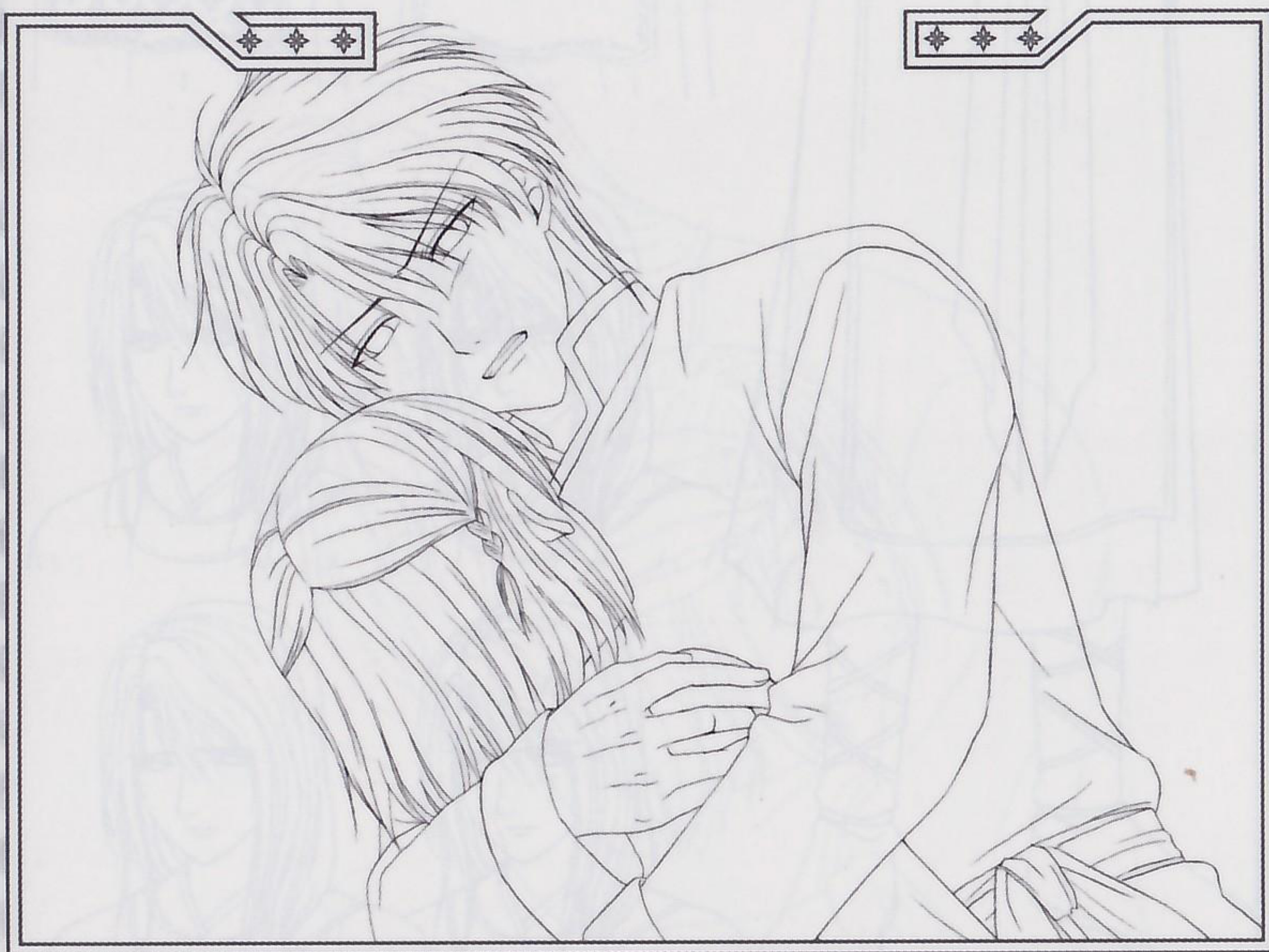
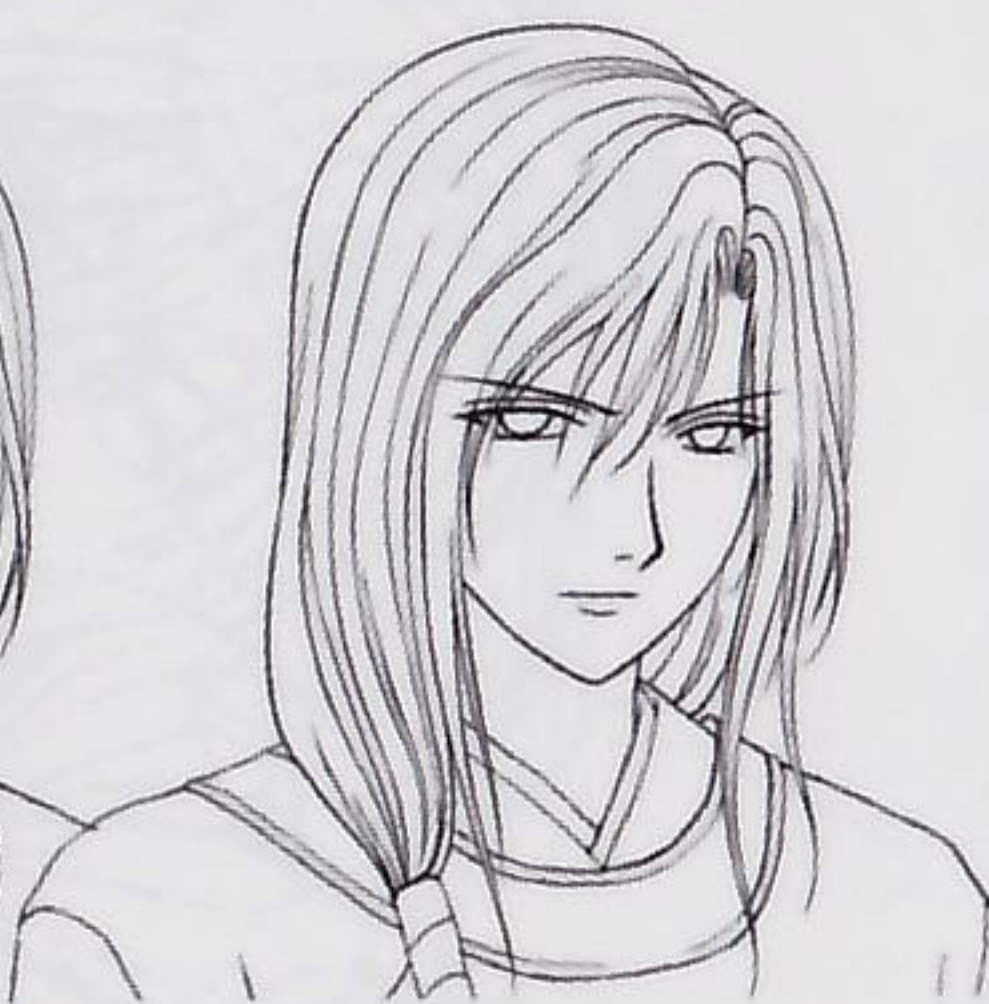
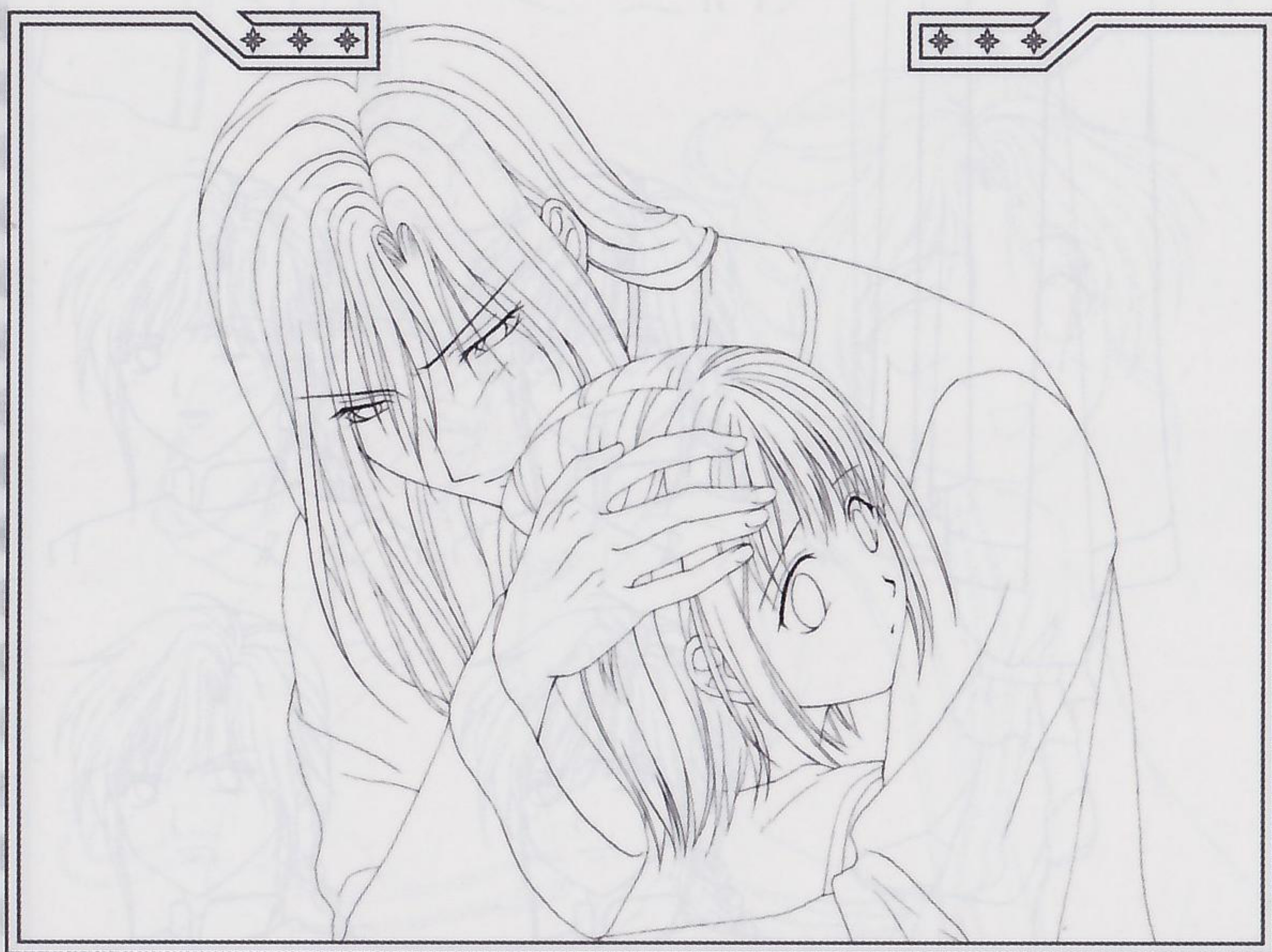
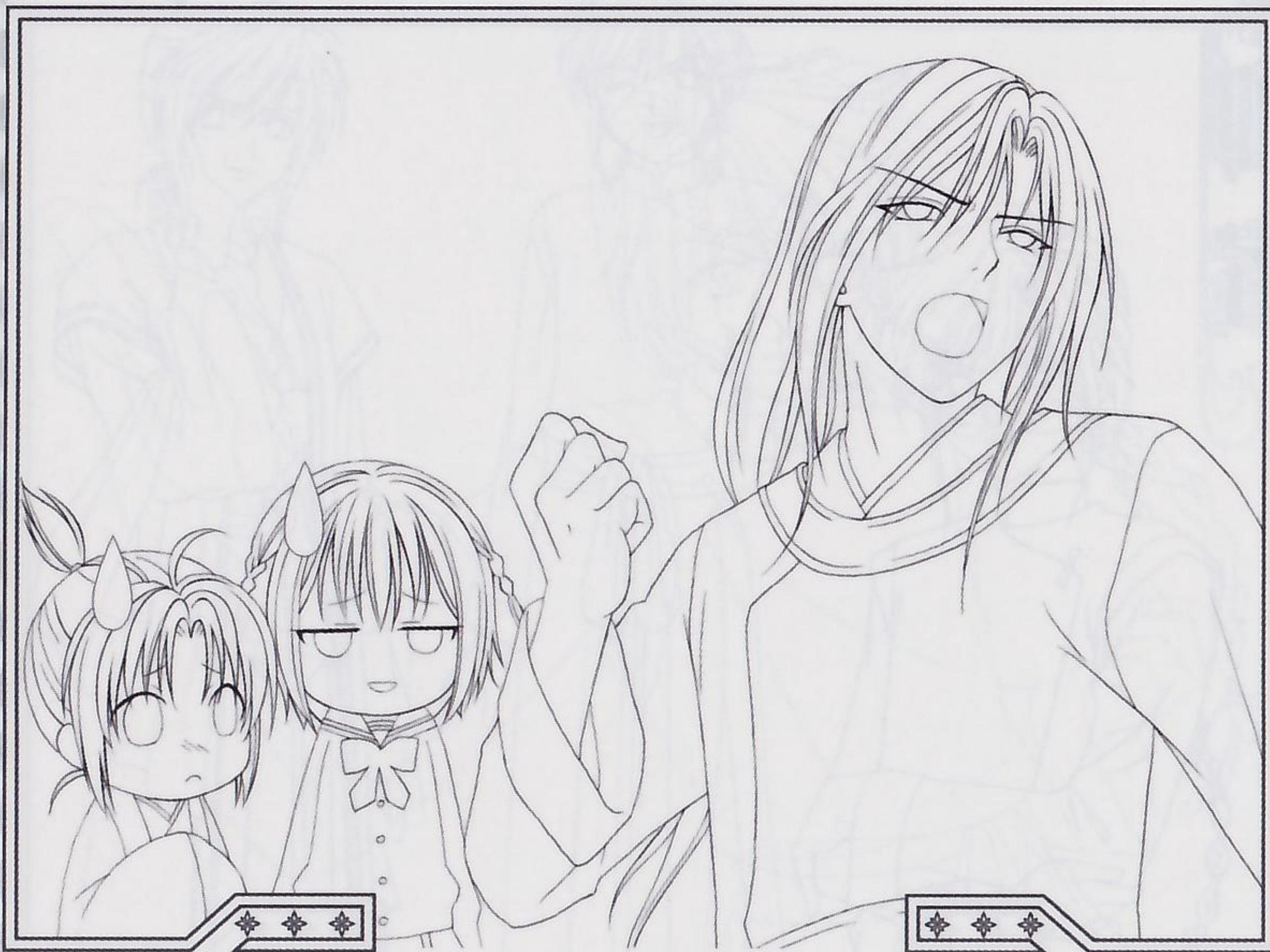
CV.葛西 佐紀

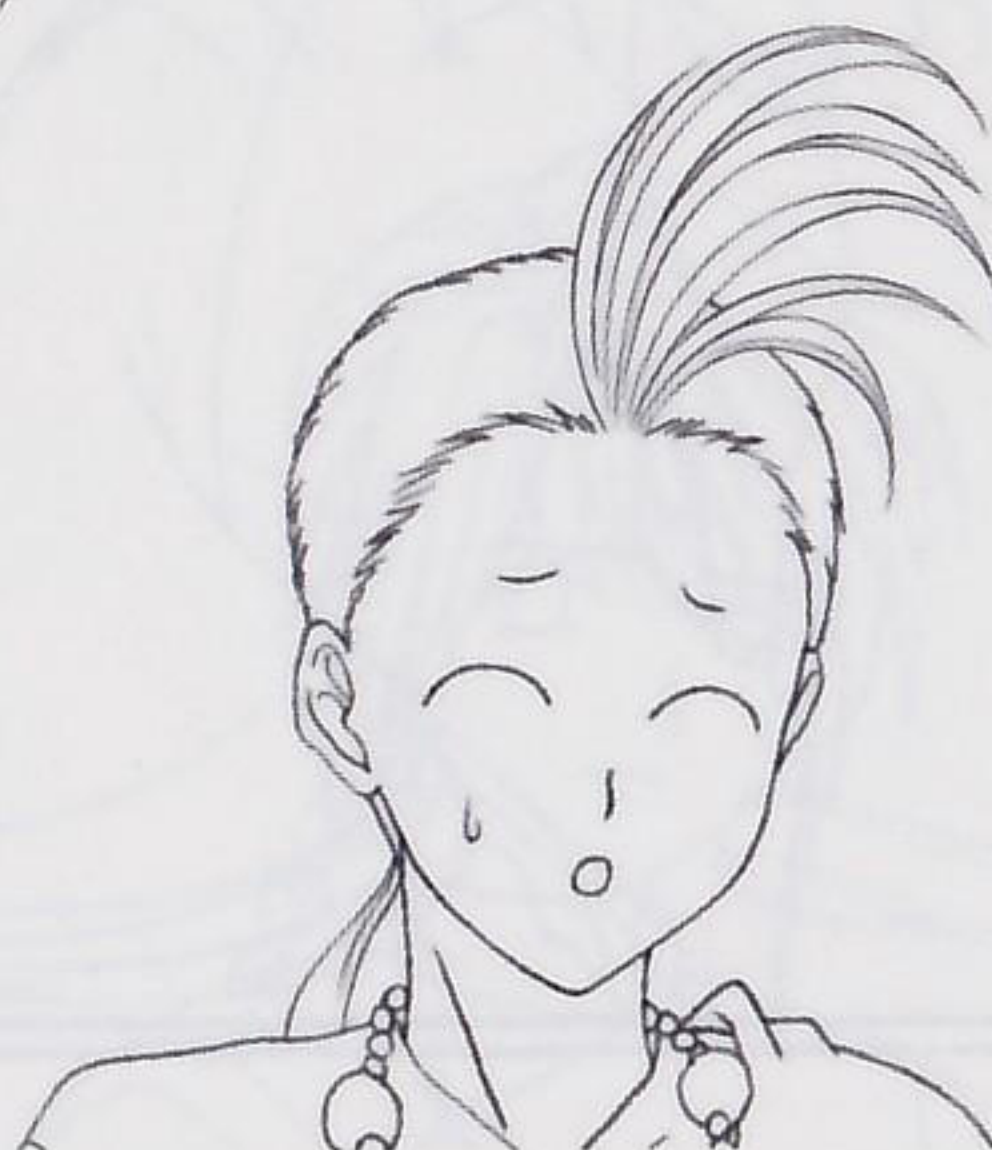
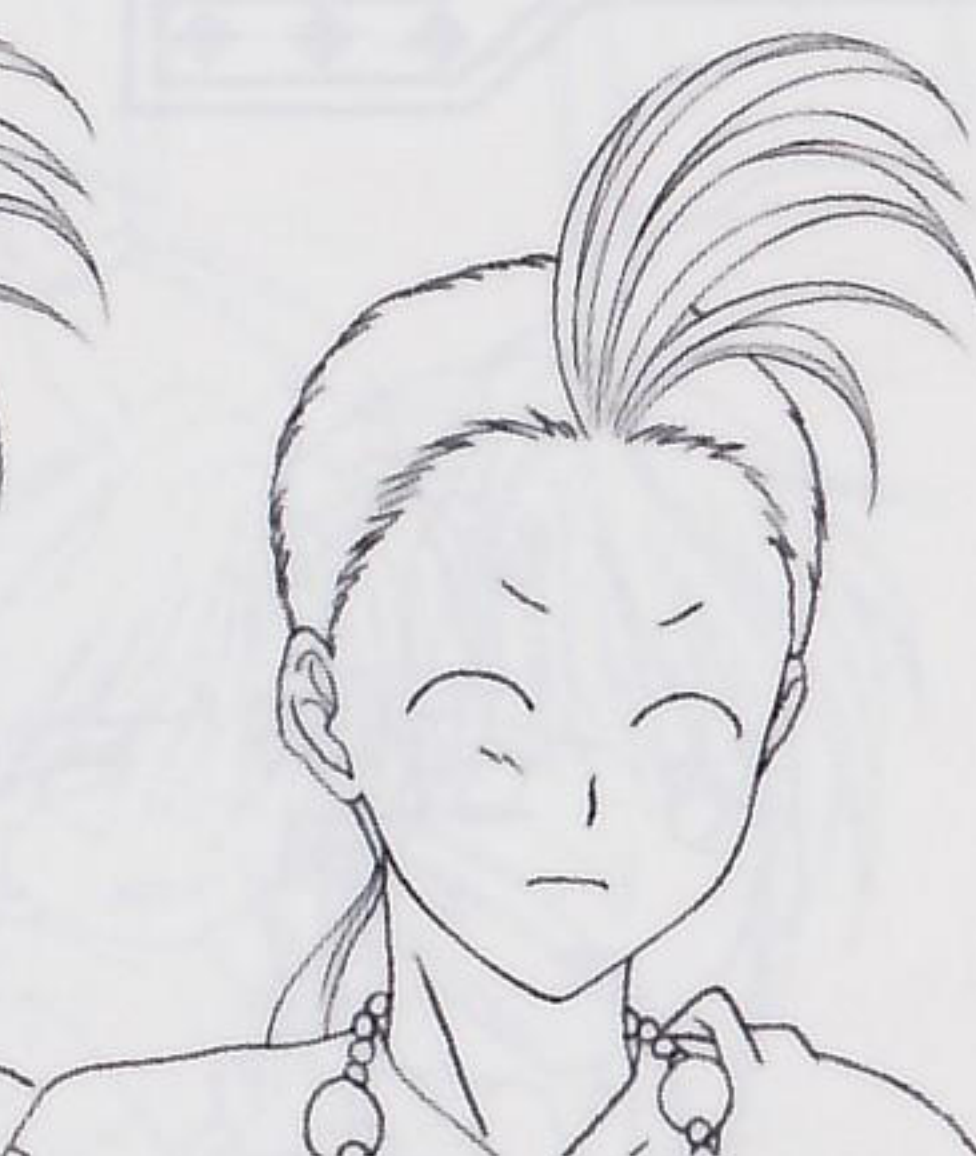
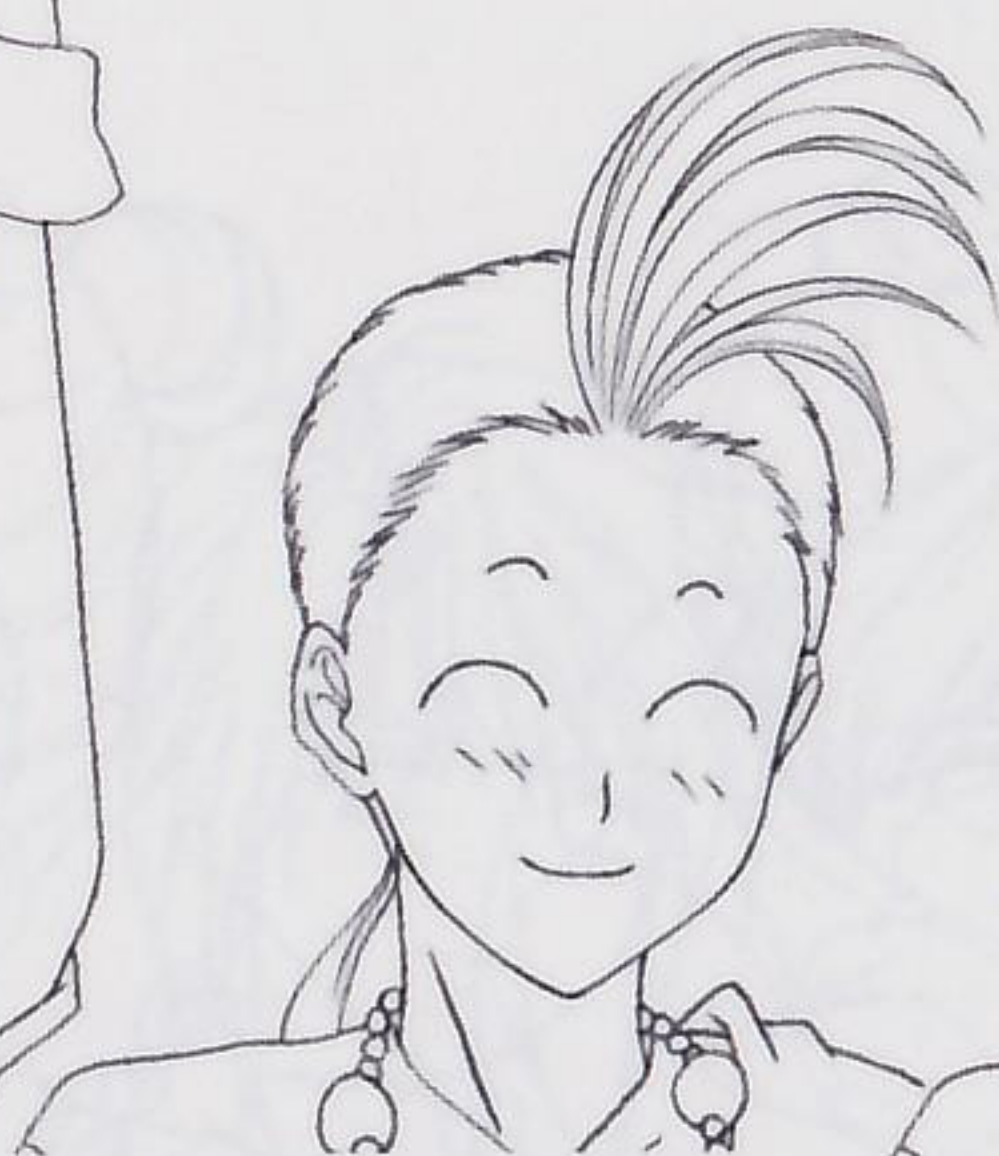
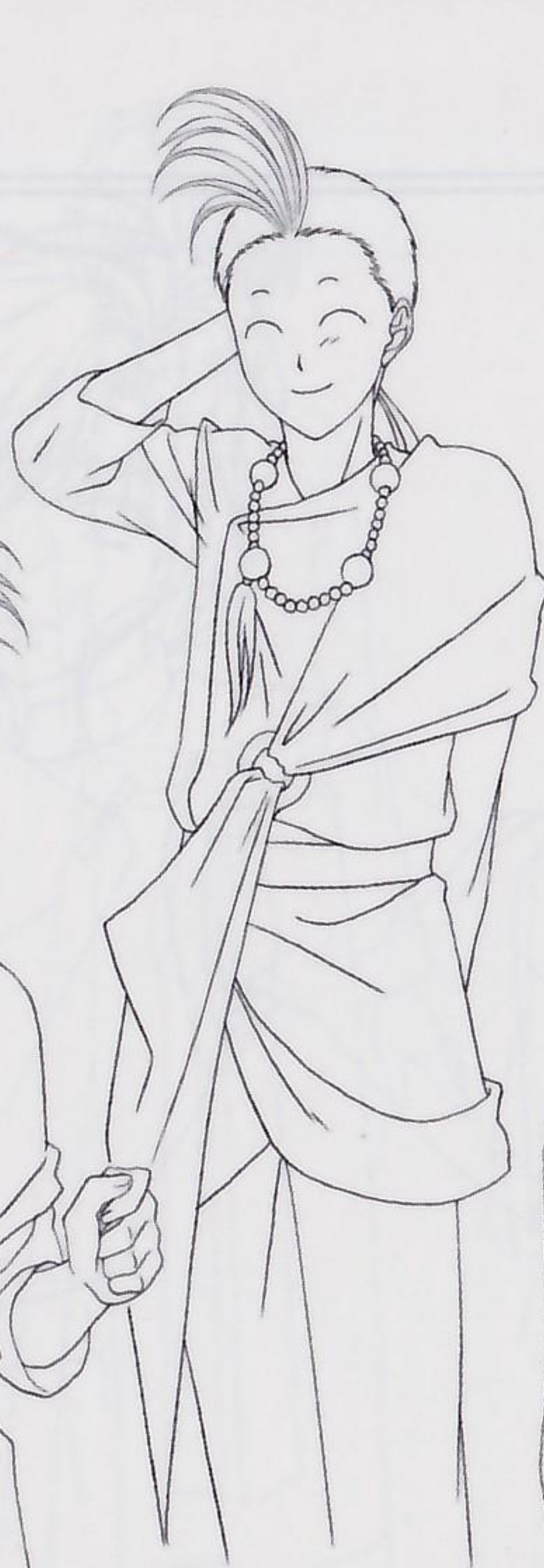
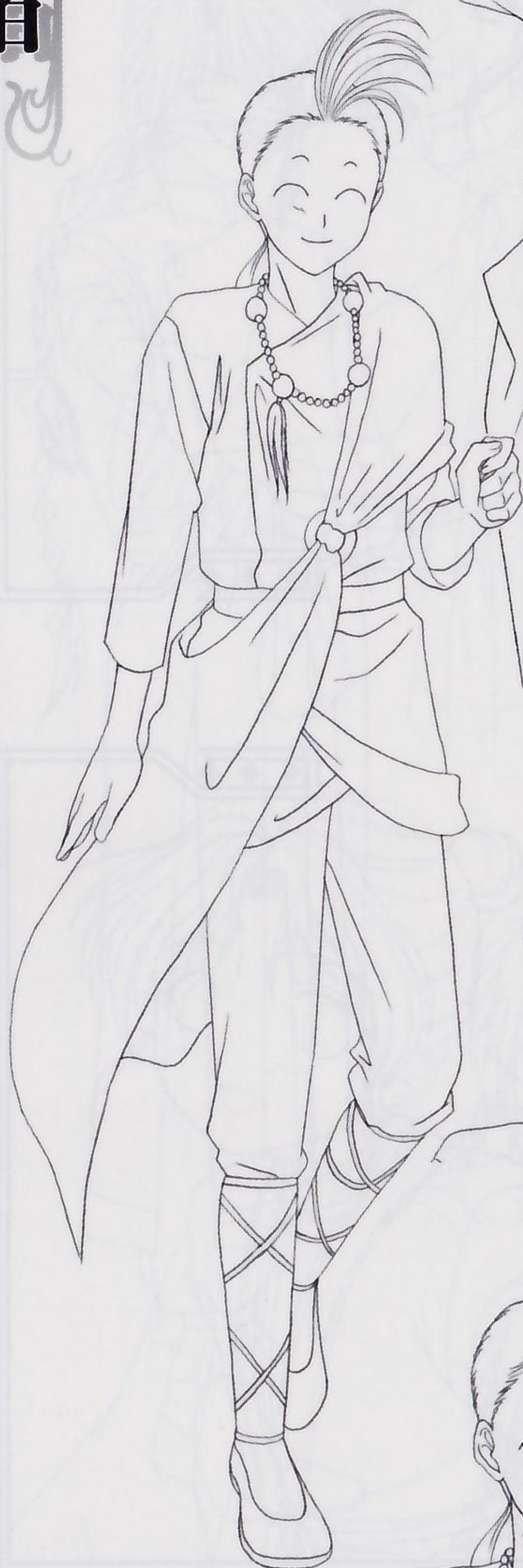
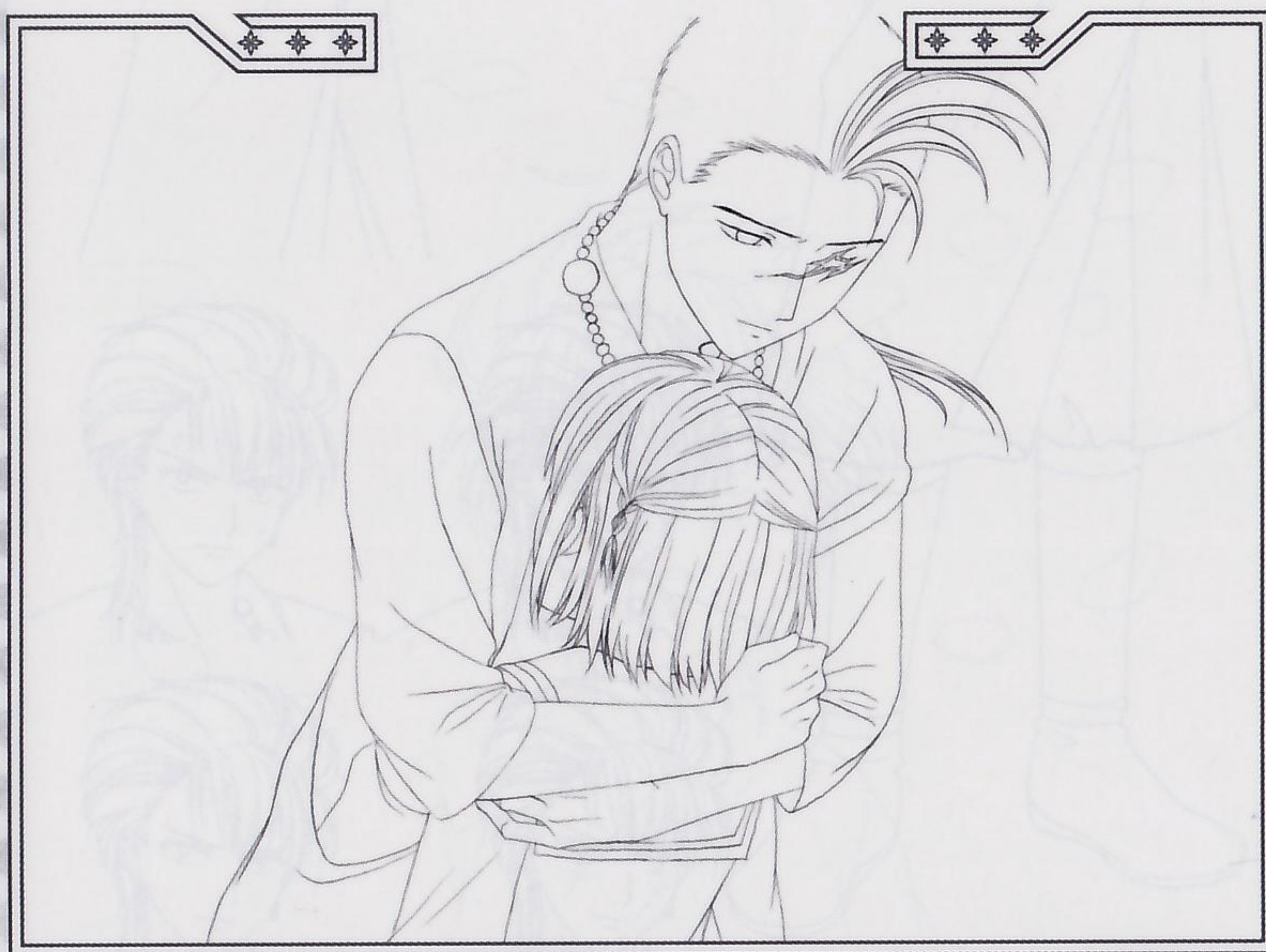
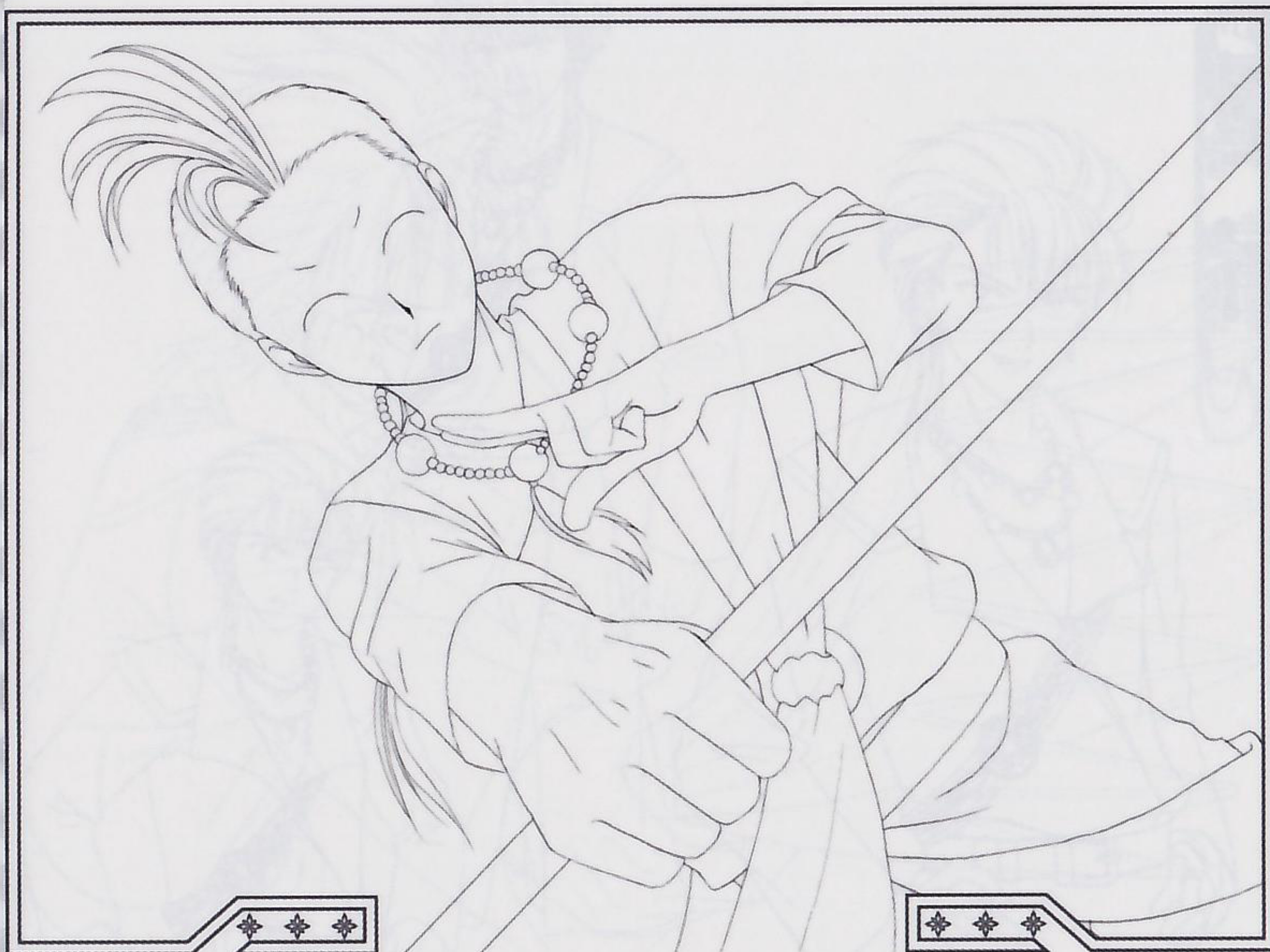
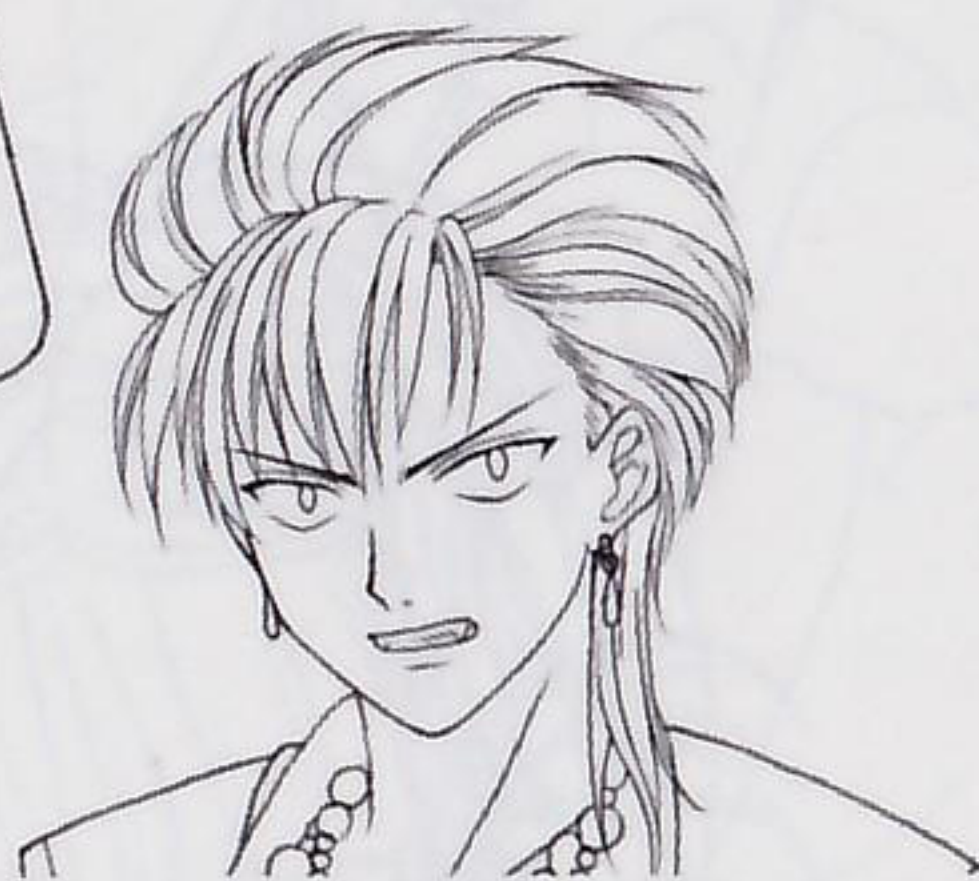
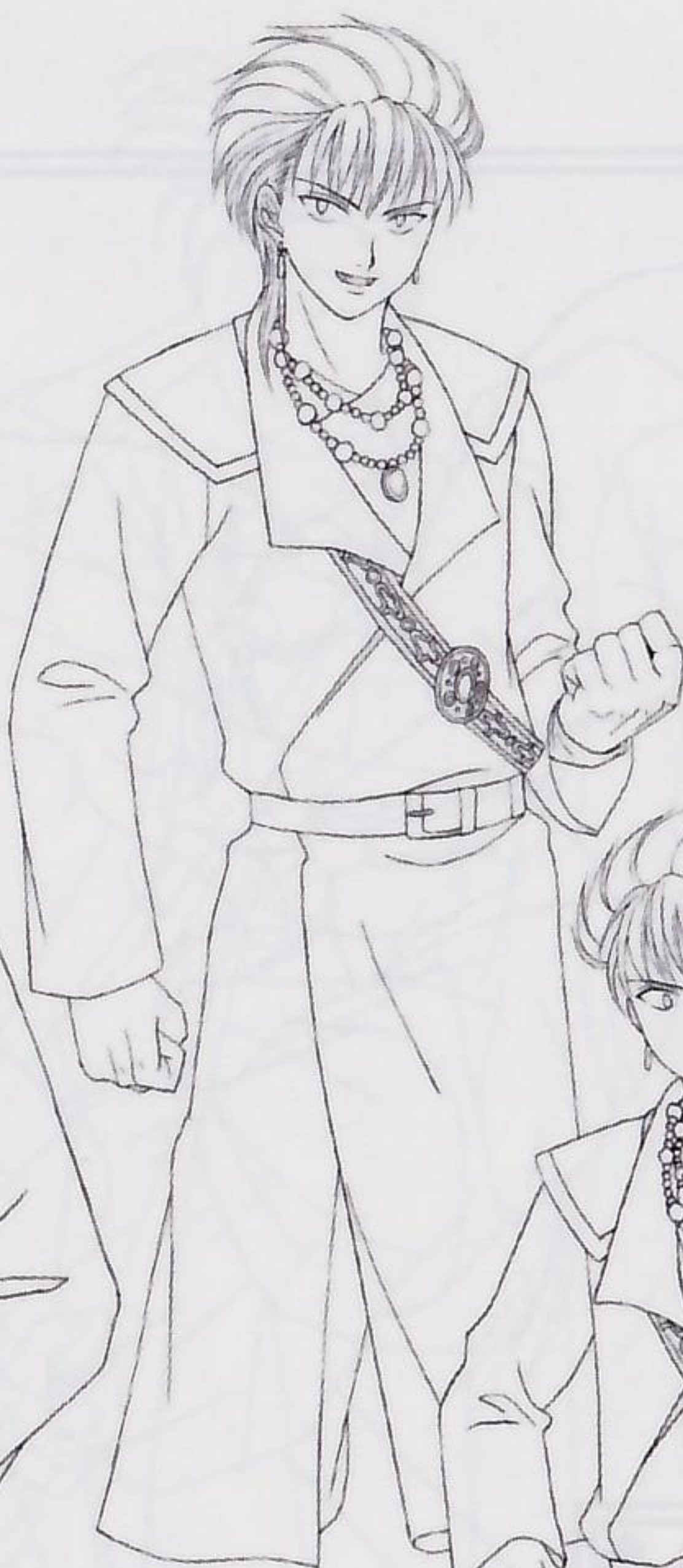
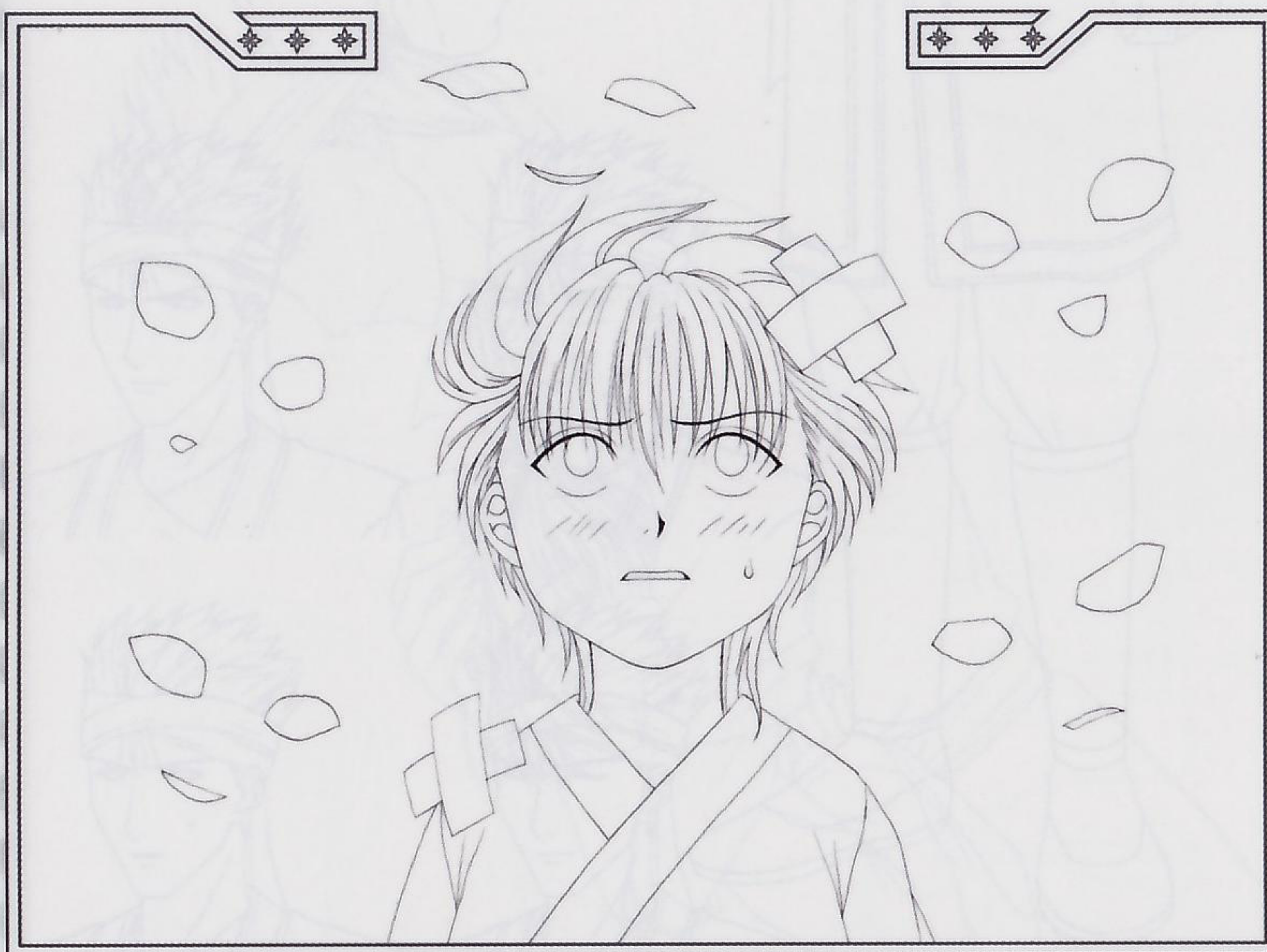
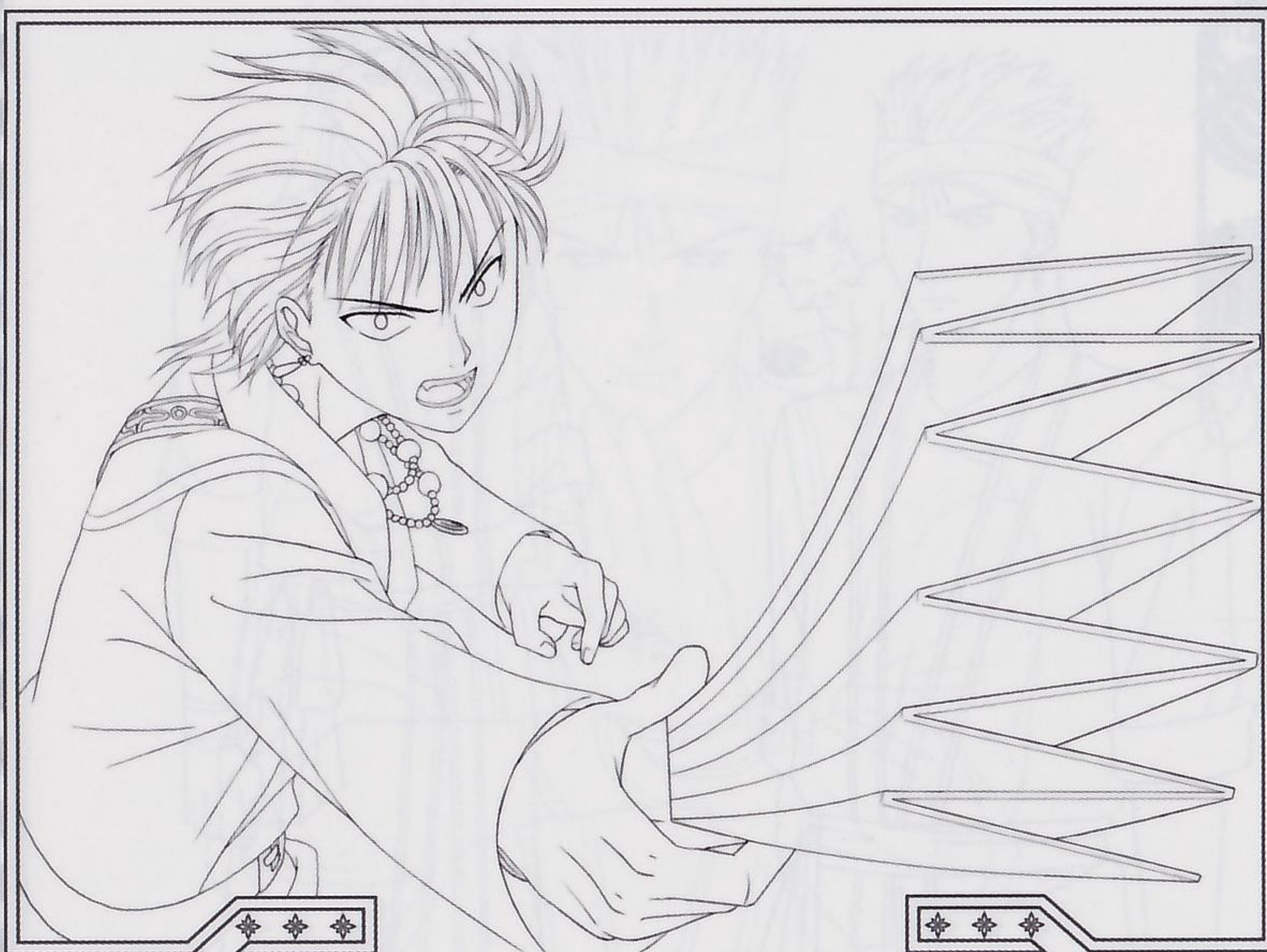
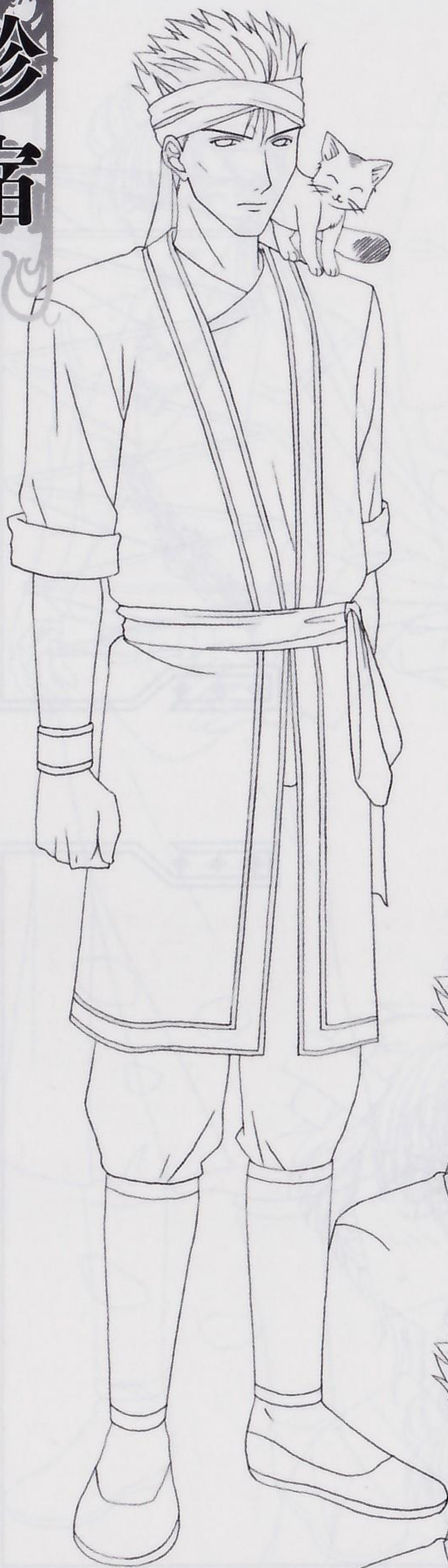
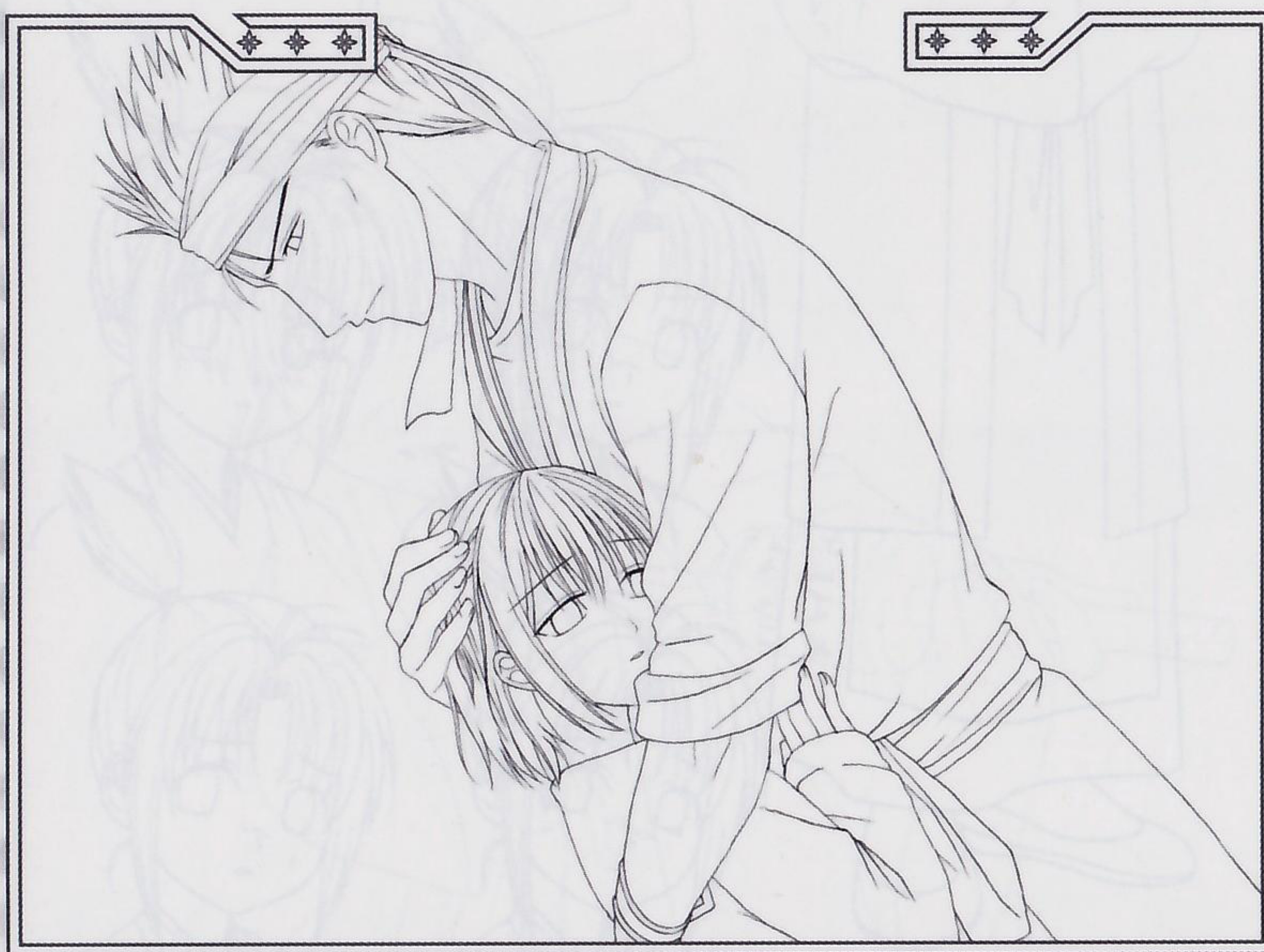
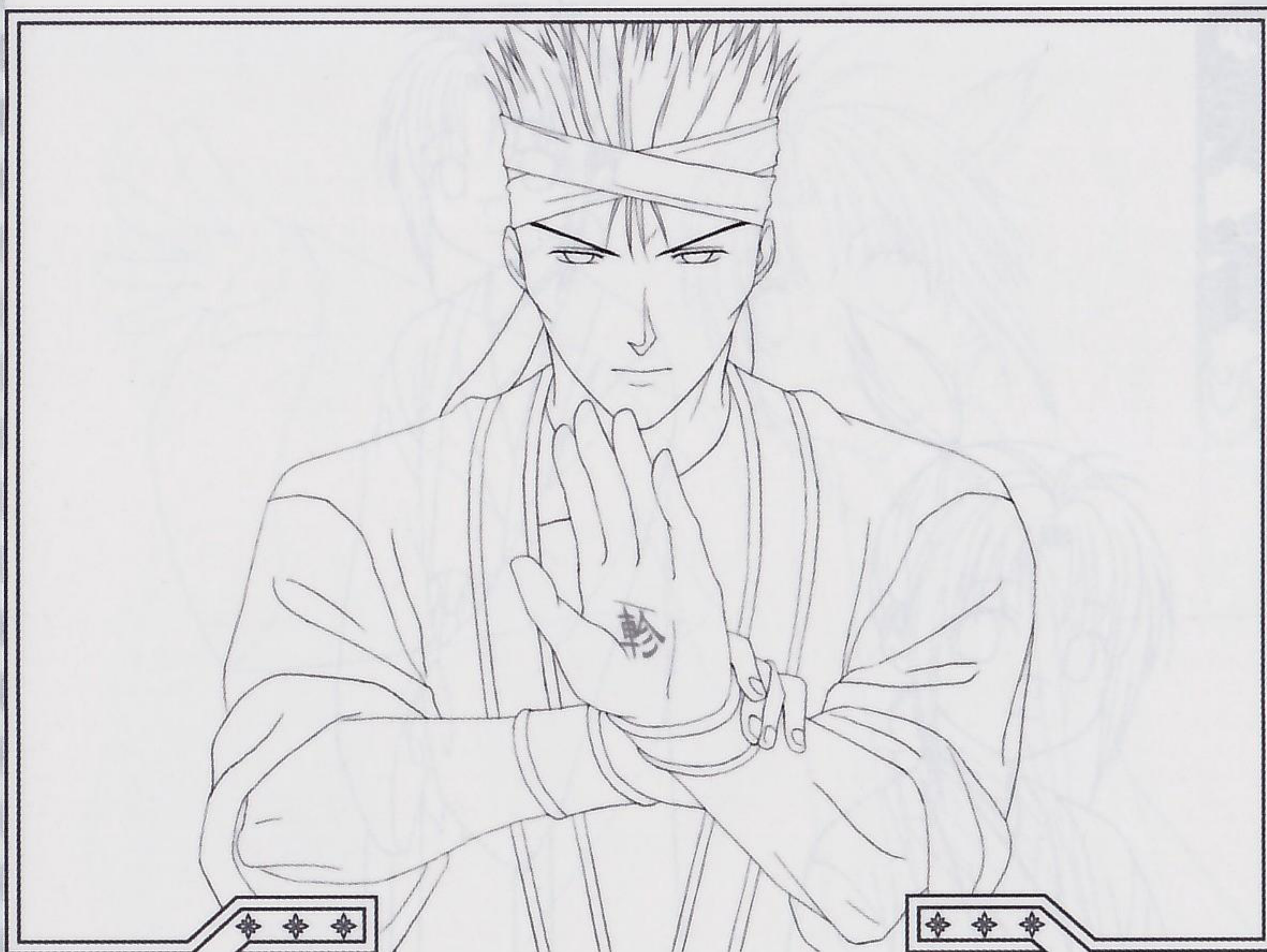
大極山に住み、世界を治める天帝。
巫女と七星士を導く存在。

図画

イスラト

初期設定

ラフイラスト

鬼宿

星宿

柳宿

井宿

翼宿

軫宿

張宿

鳳まどか

まどか _髪型案

制服案

氷室深咲

深咲＿髪型案

心宿

角宿

亢宿

房宿

氐宿

箕宿

尾宿

原作初期設定

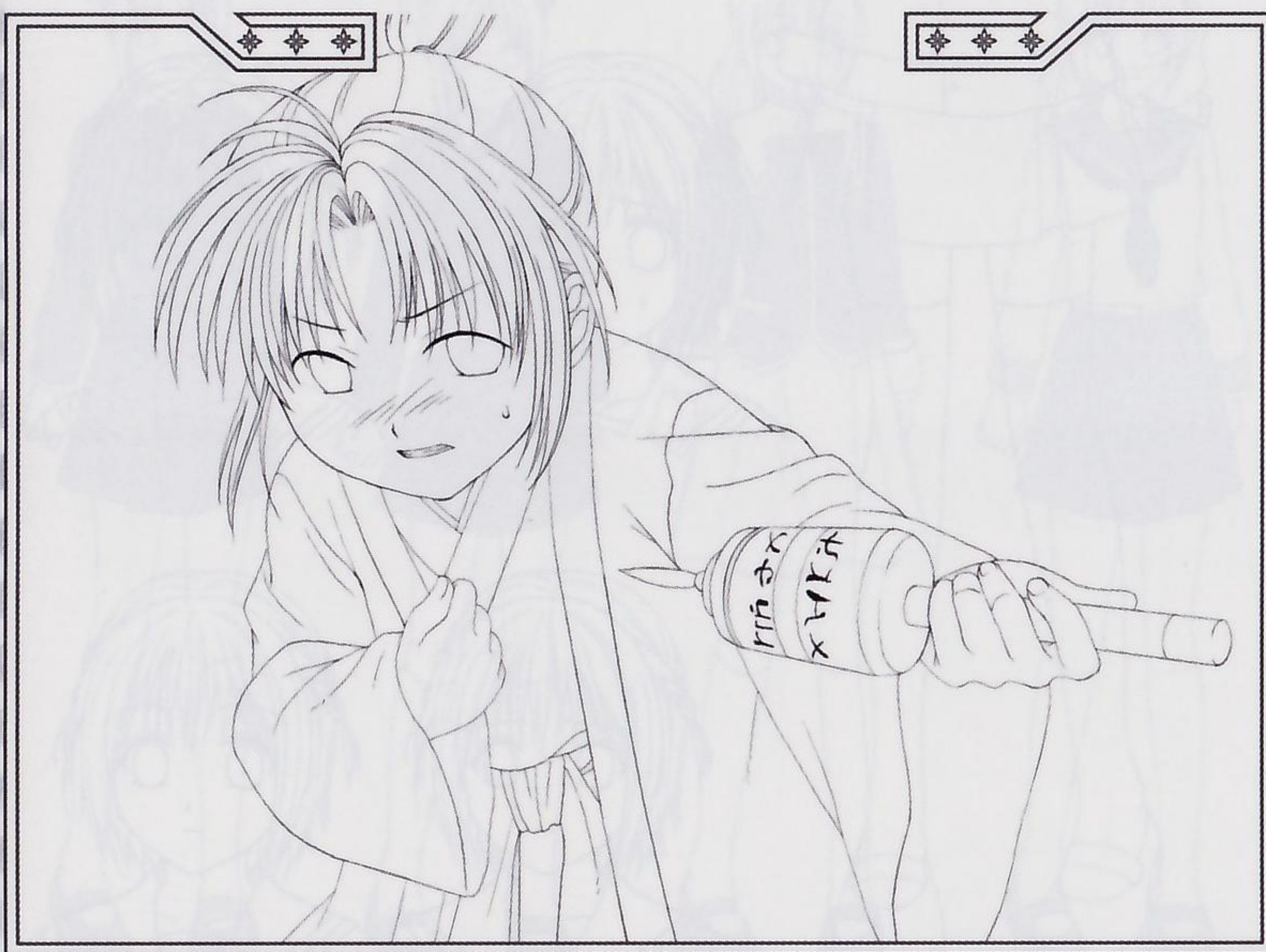
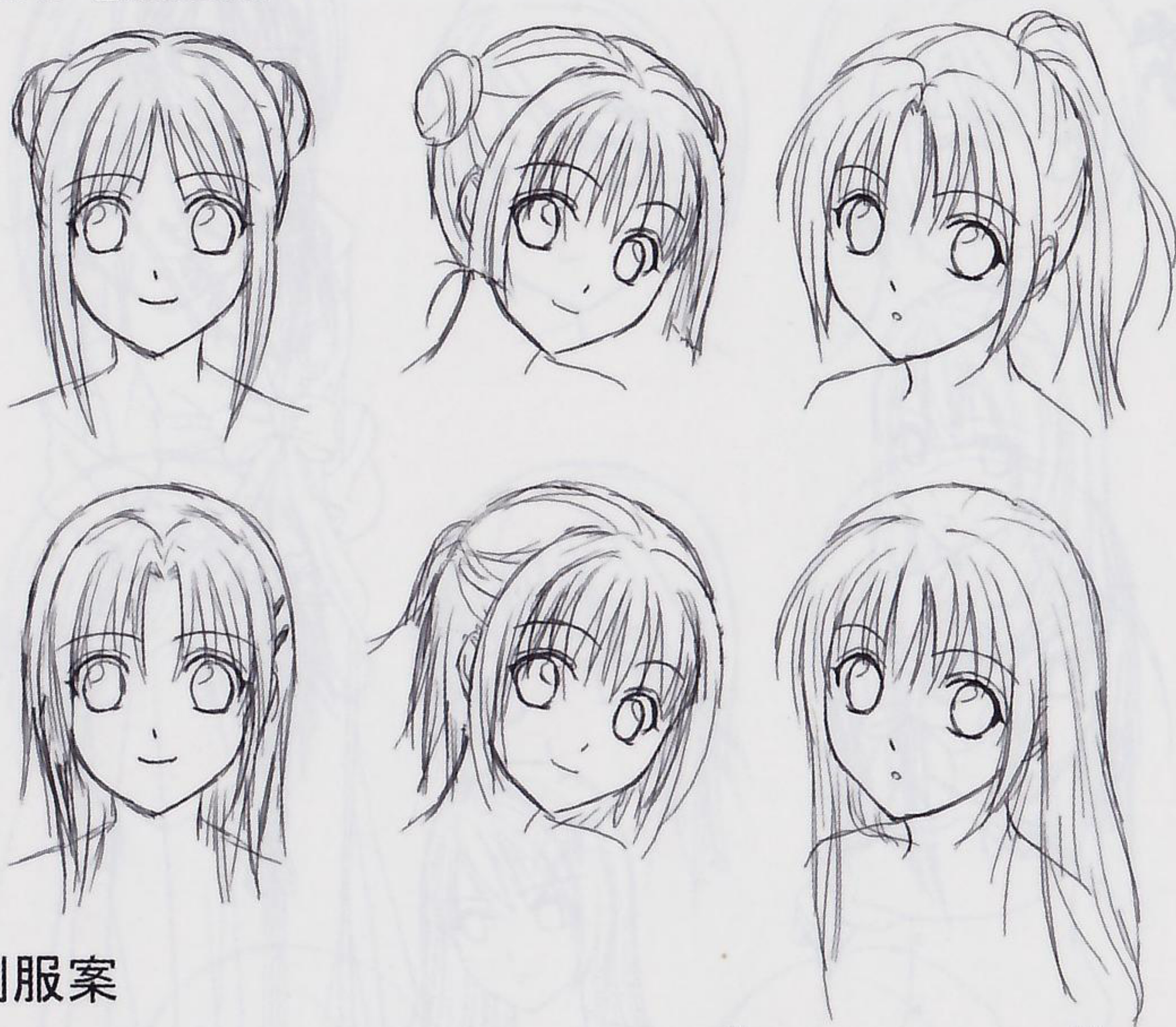
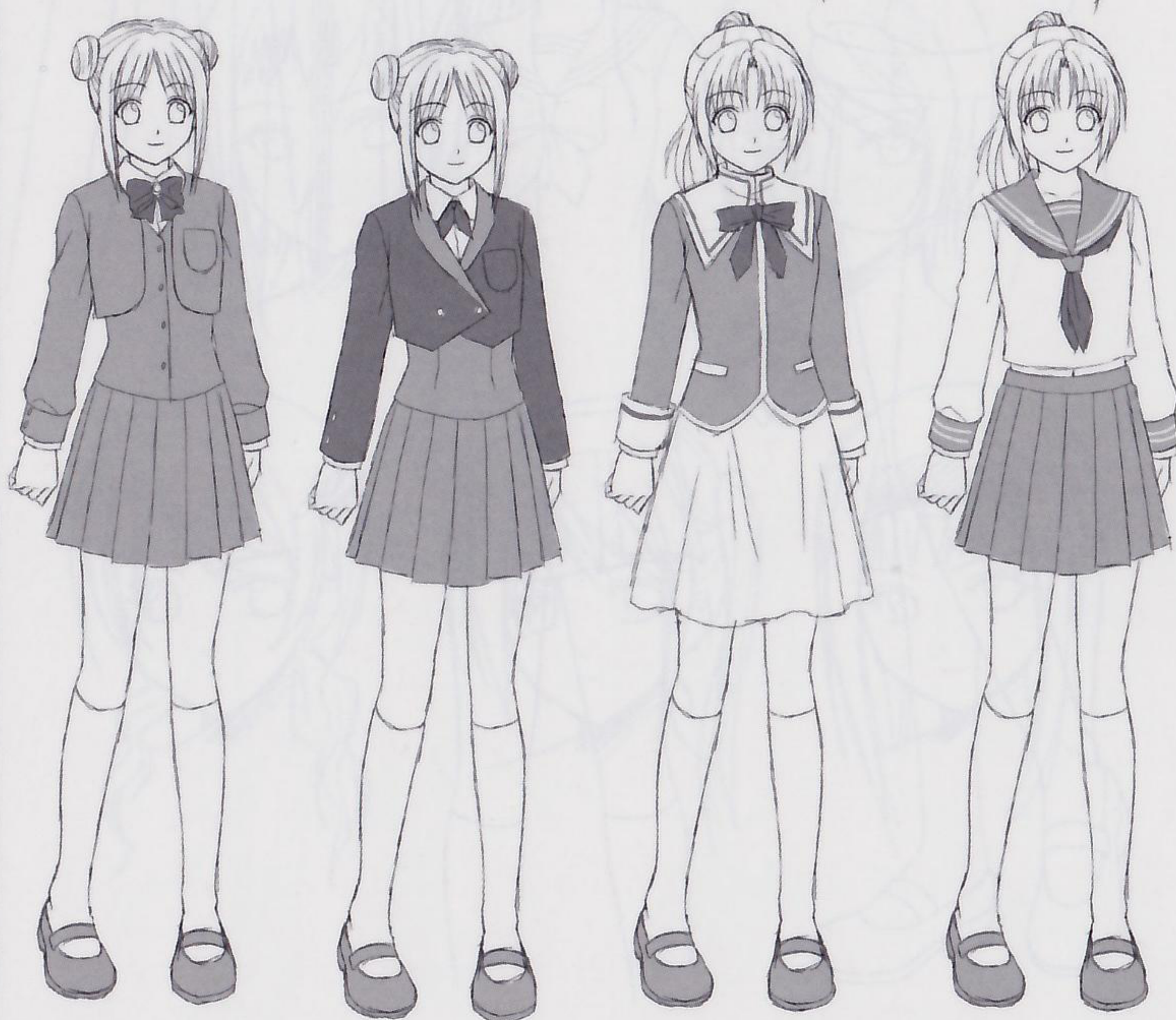
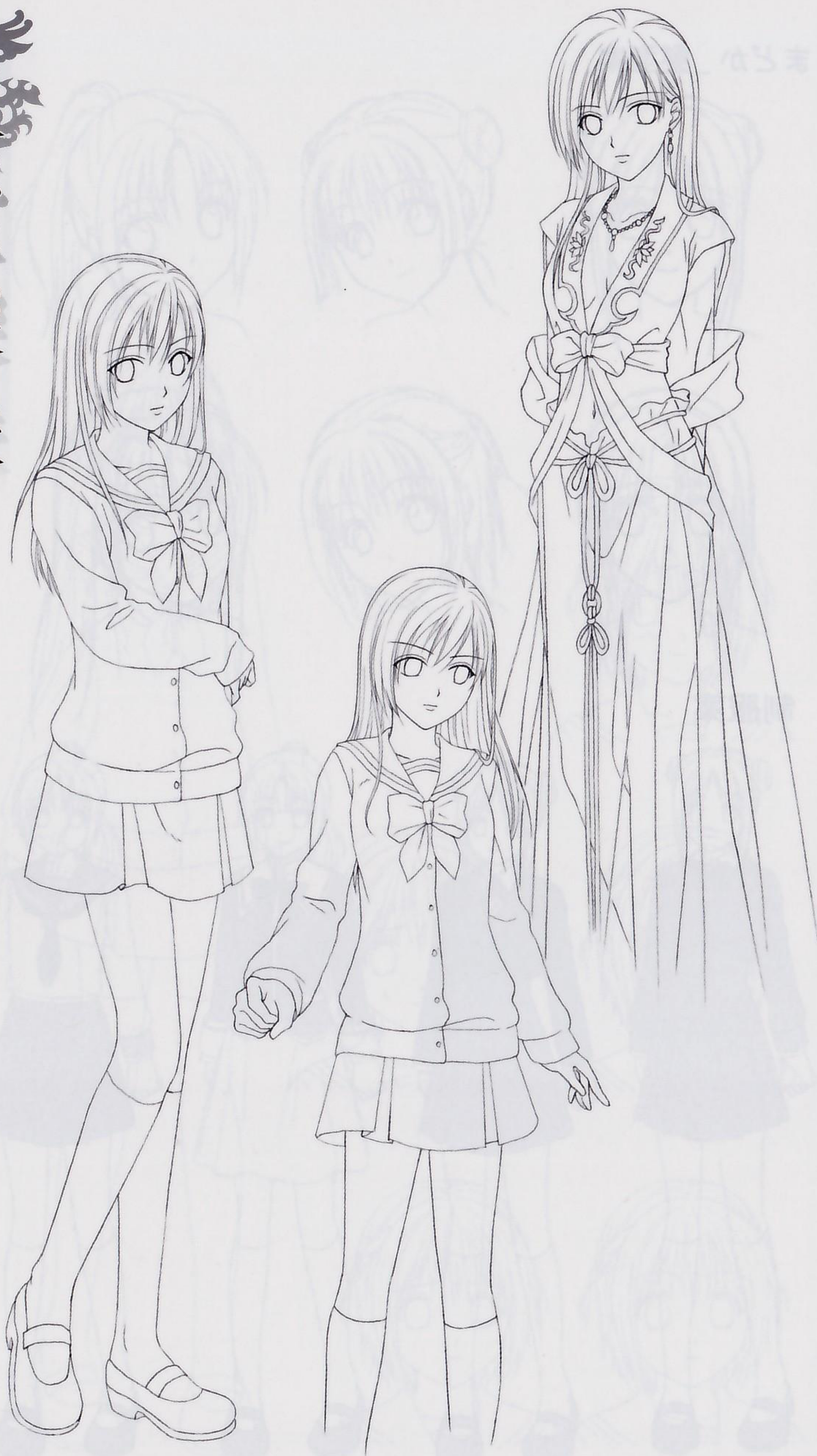
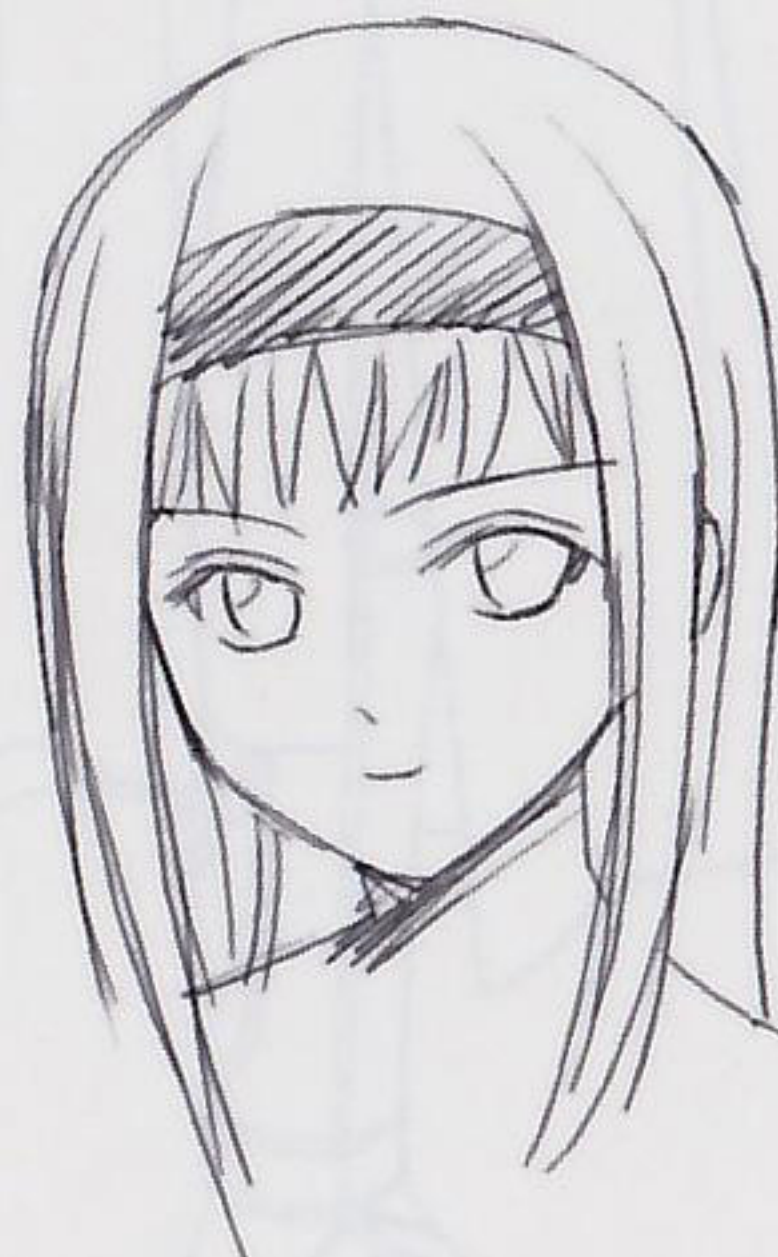
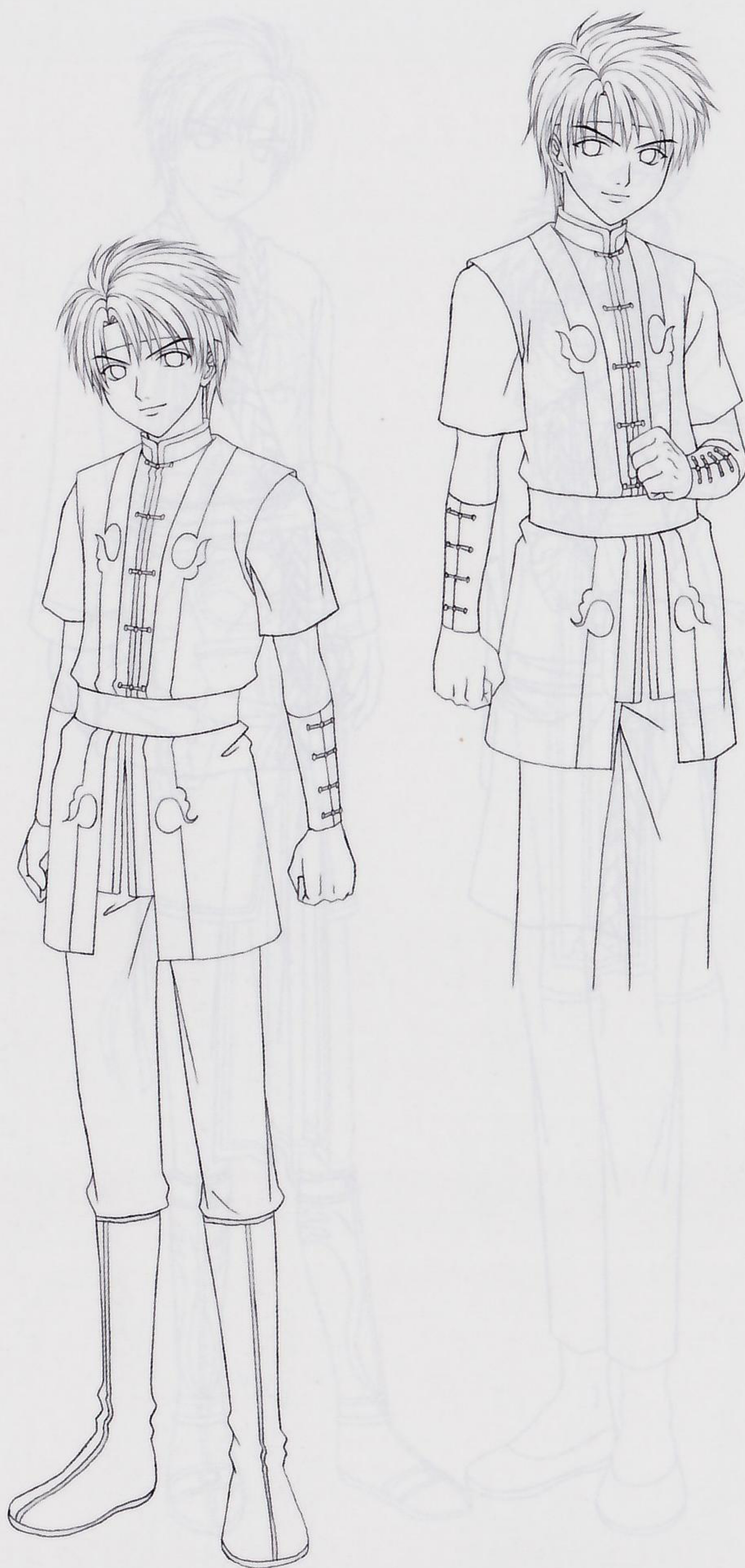
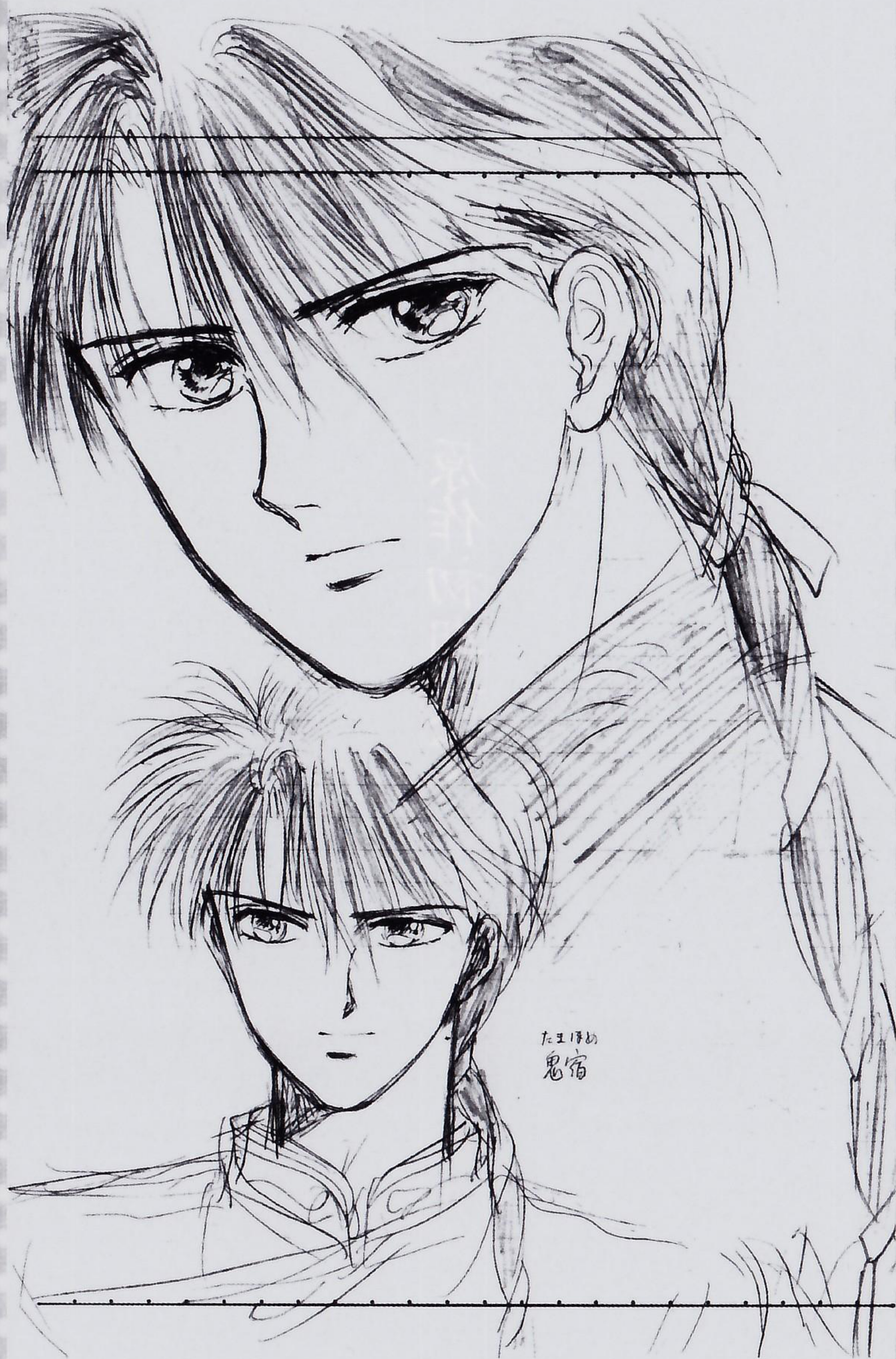
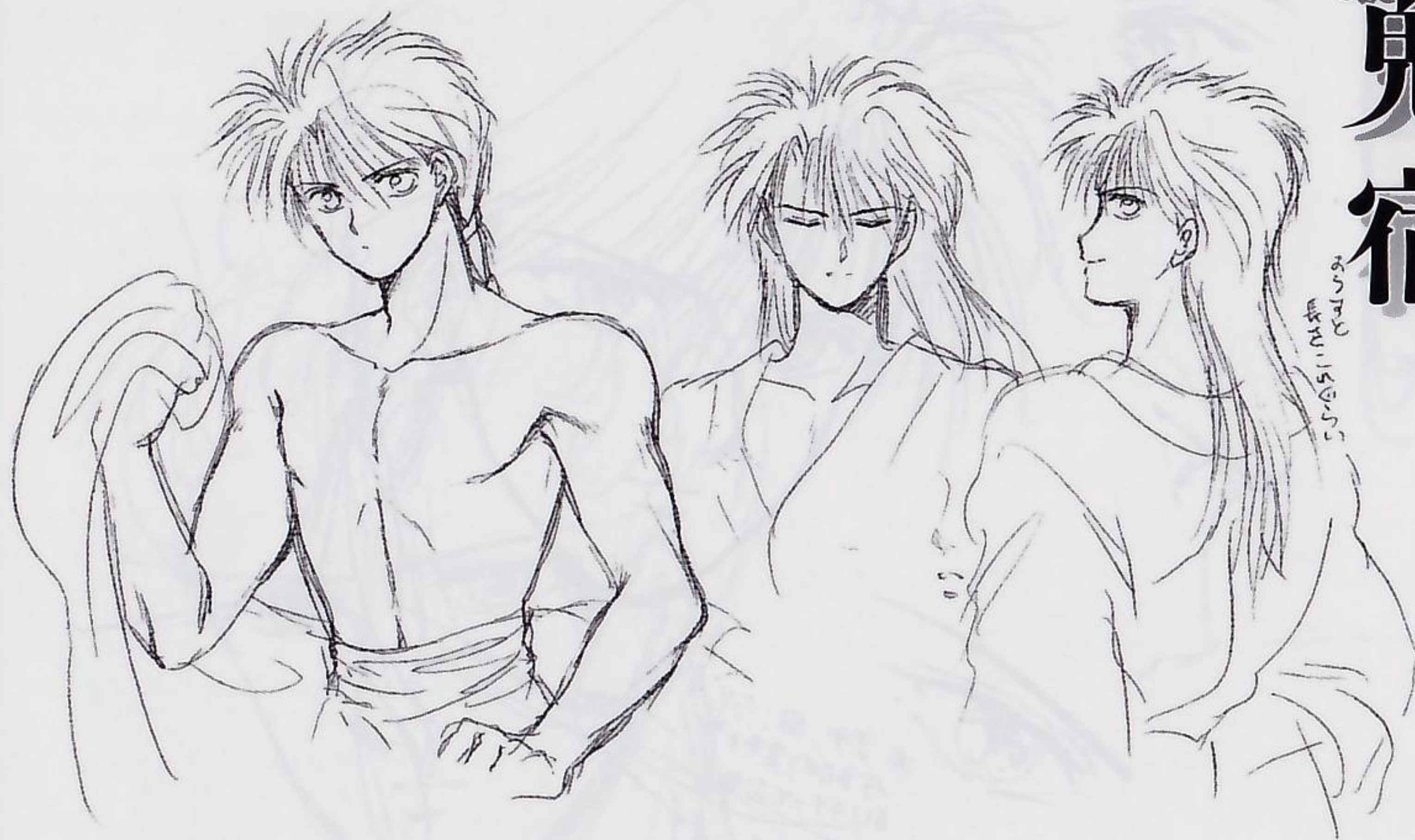
ラフイラスト

たまほめ
鬼宿

鬼宿

鬼宿

今日
これまた
いい
お天気
ぴっ

お金
かして
くない？

今でいうと高校2年ぐらいで
まだ少年っぽい

ん？

← 夜寝る前は
今日一日もうけた
お金をかぞえる

ZZ
がーっ

酒

鬼宿

鬼宿
※まゆ，目，ちとキツめ
今までの男キャラ
よりキリッとさせよ
どちらかと
いうと
不良っぽい
フンイキ
くるくる
まきつけて
まとめてある
'91
9/4

星宿

柳宿

柳宿

柳星
（18歳）

ちょっとカマっぽい美しいもの
好きの自称七星士。ウトバの
所々に女コトバも出す。仕事は
化粧師（今のメイクアーチスト？）で
ヘタすると自分で女装してしまう。
普段はヘラヘラしているがイザという
時はとても男らしく強くなる。
一途な人で美朱には何かと
ちょっかいを出して他の七
星のひんしゅくを買っている。

翼宿
たすき
翼宿
(15歳)
皮

鬼宿・翼宿

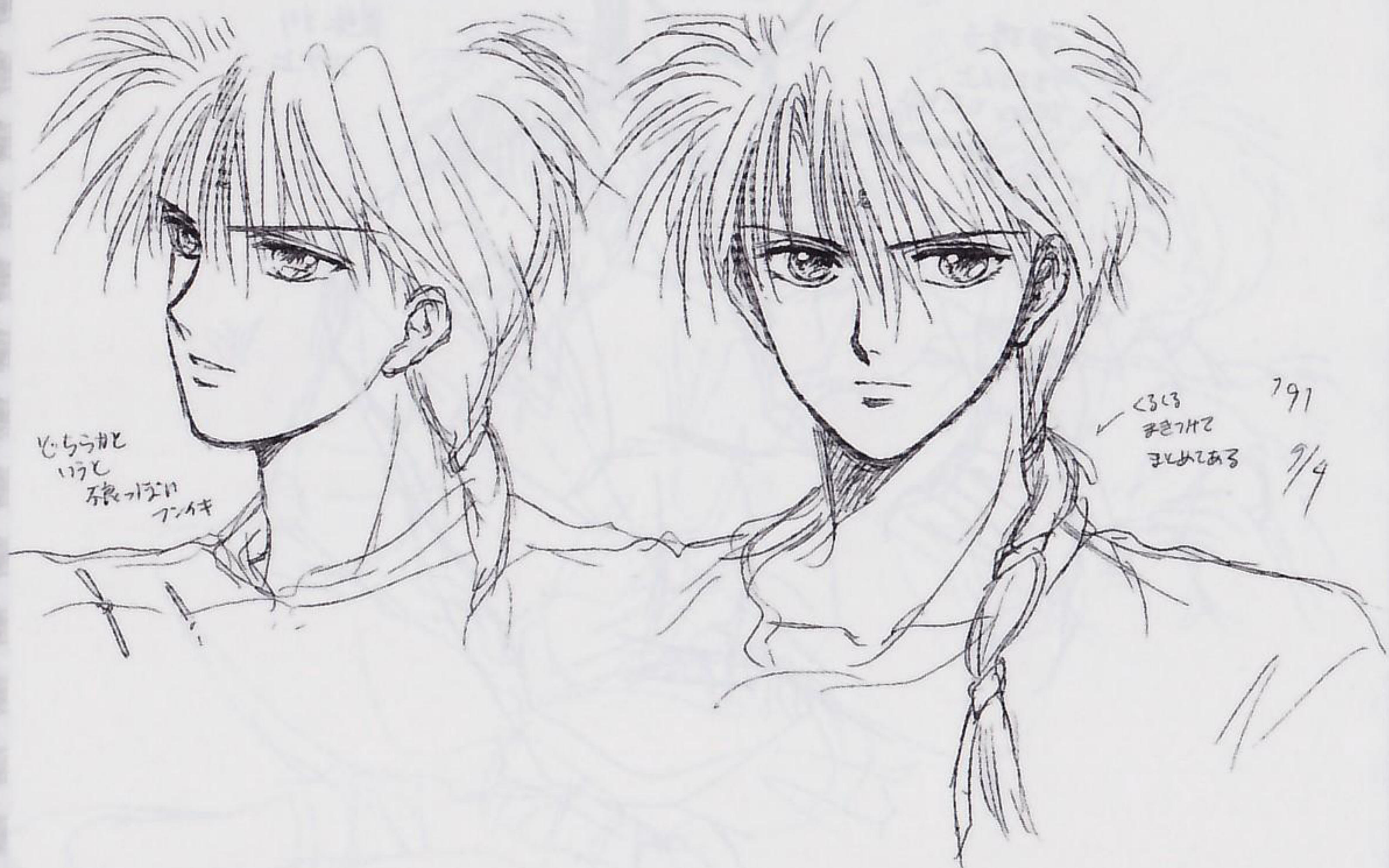
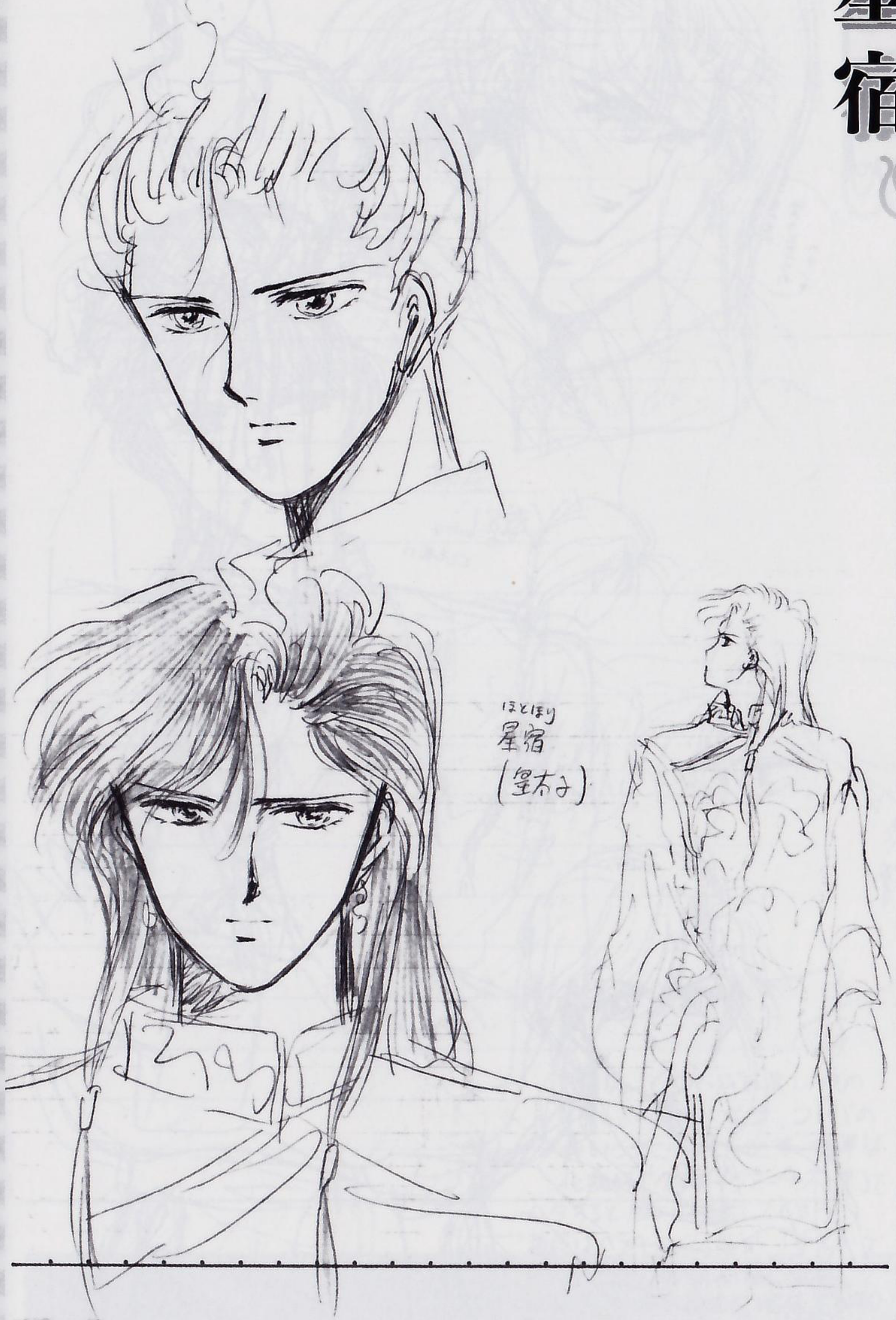
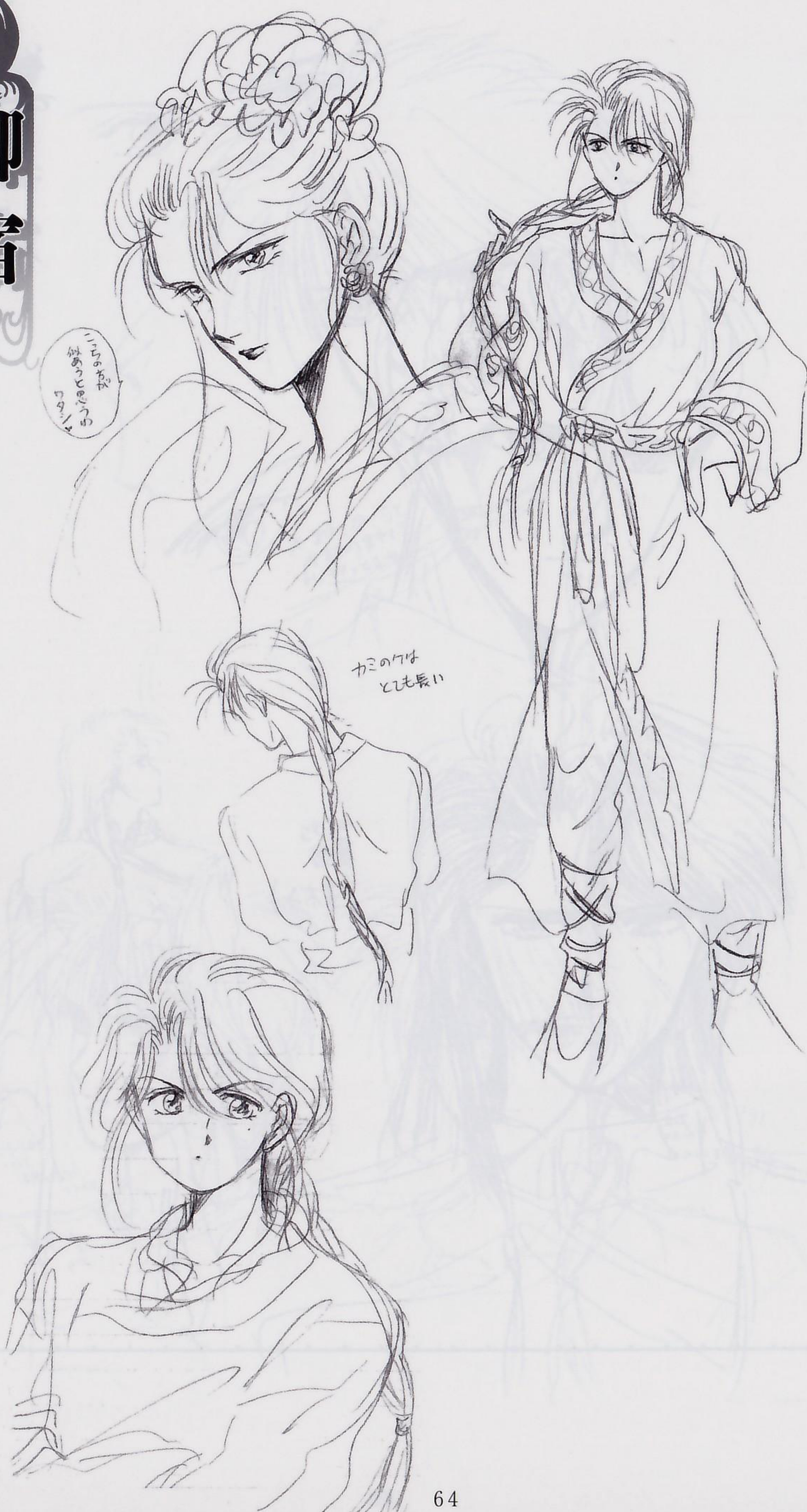
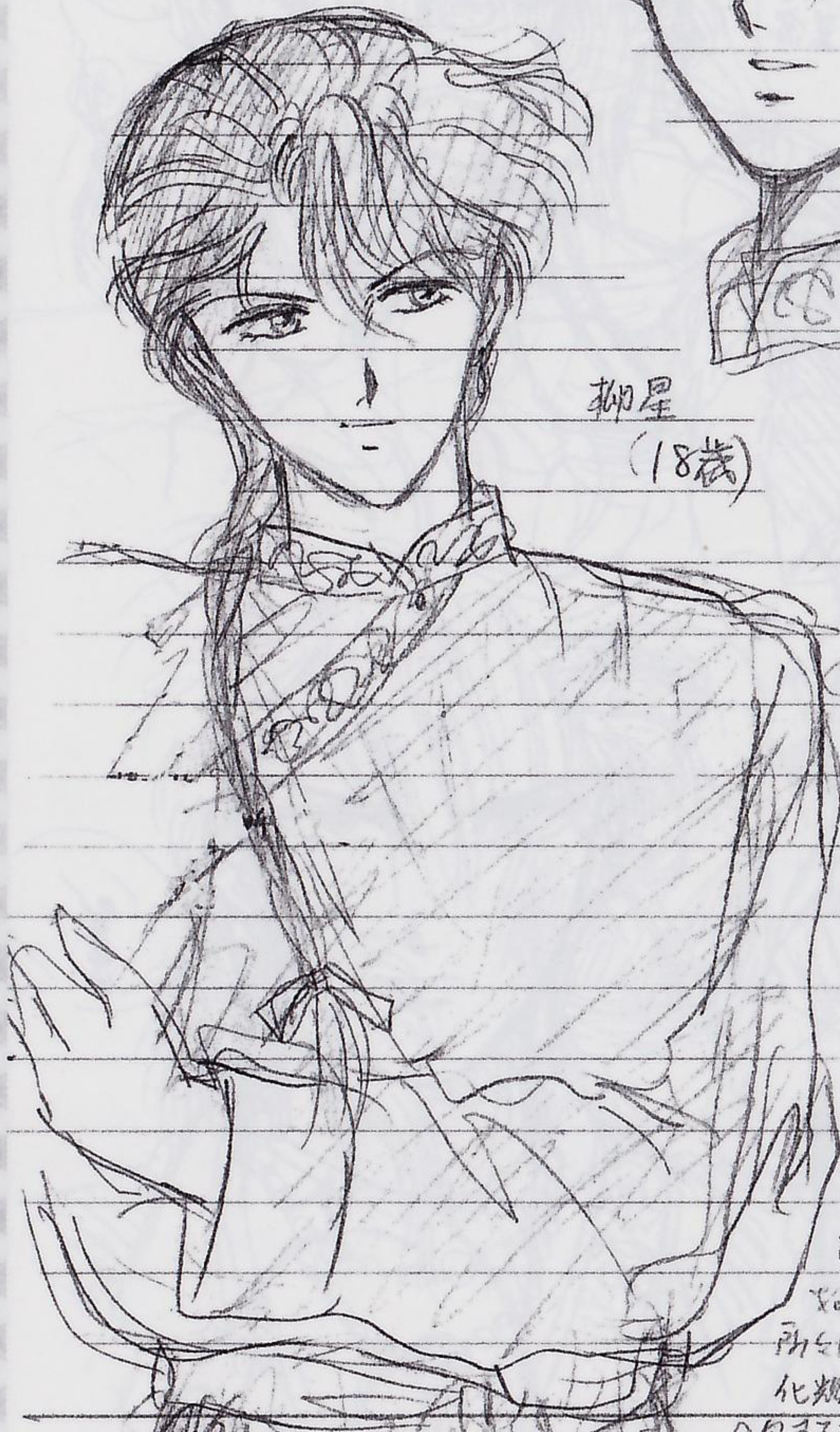
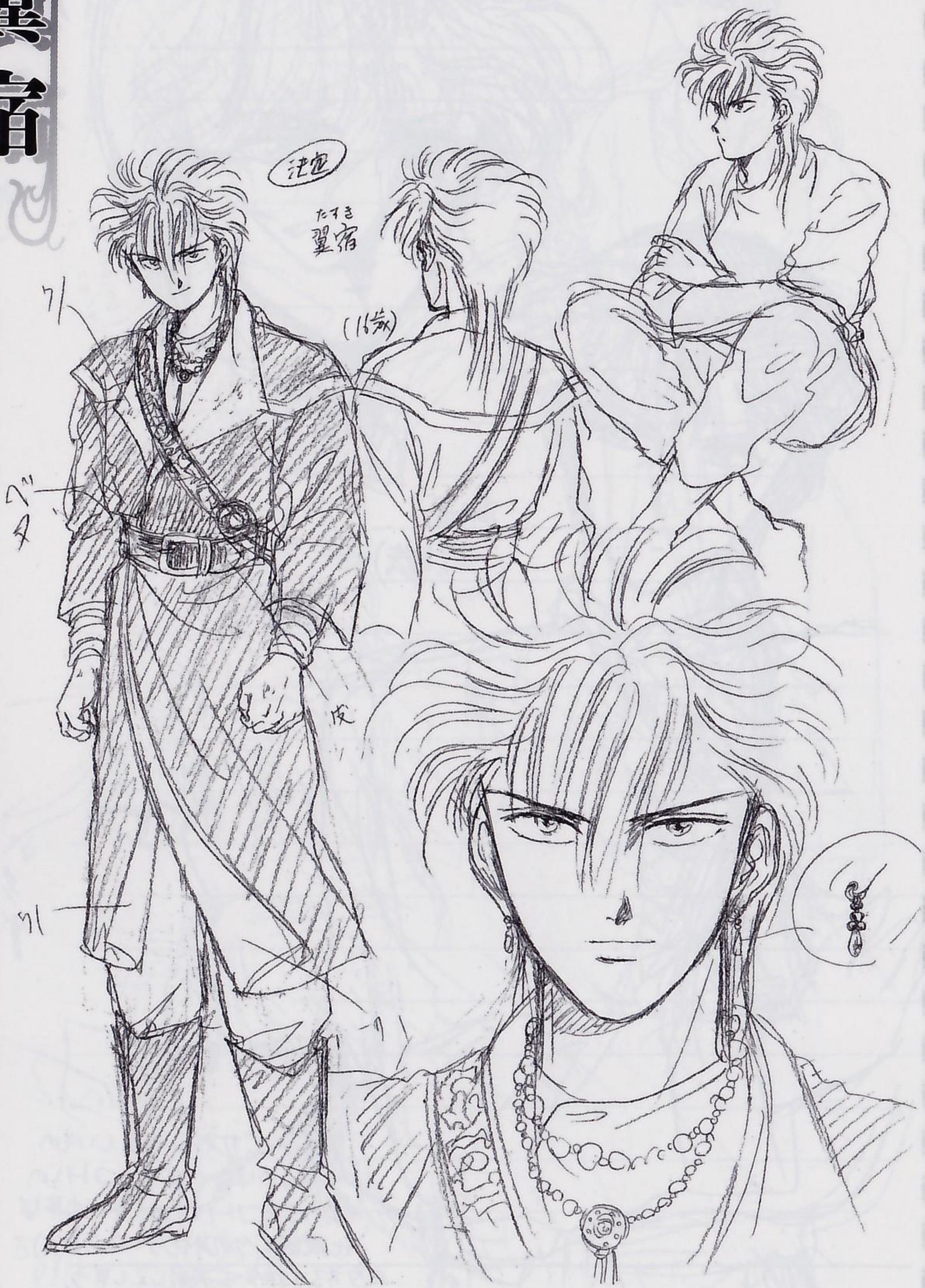
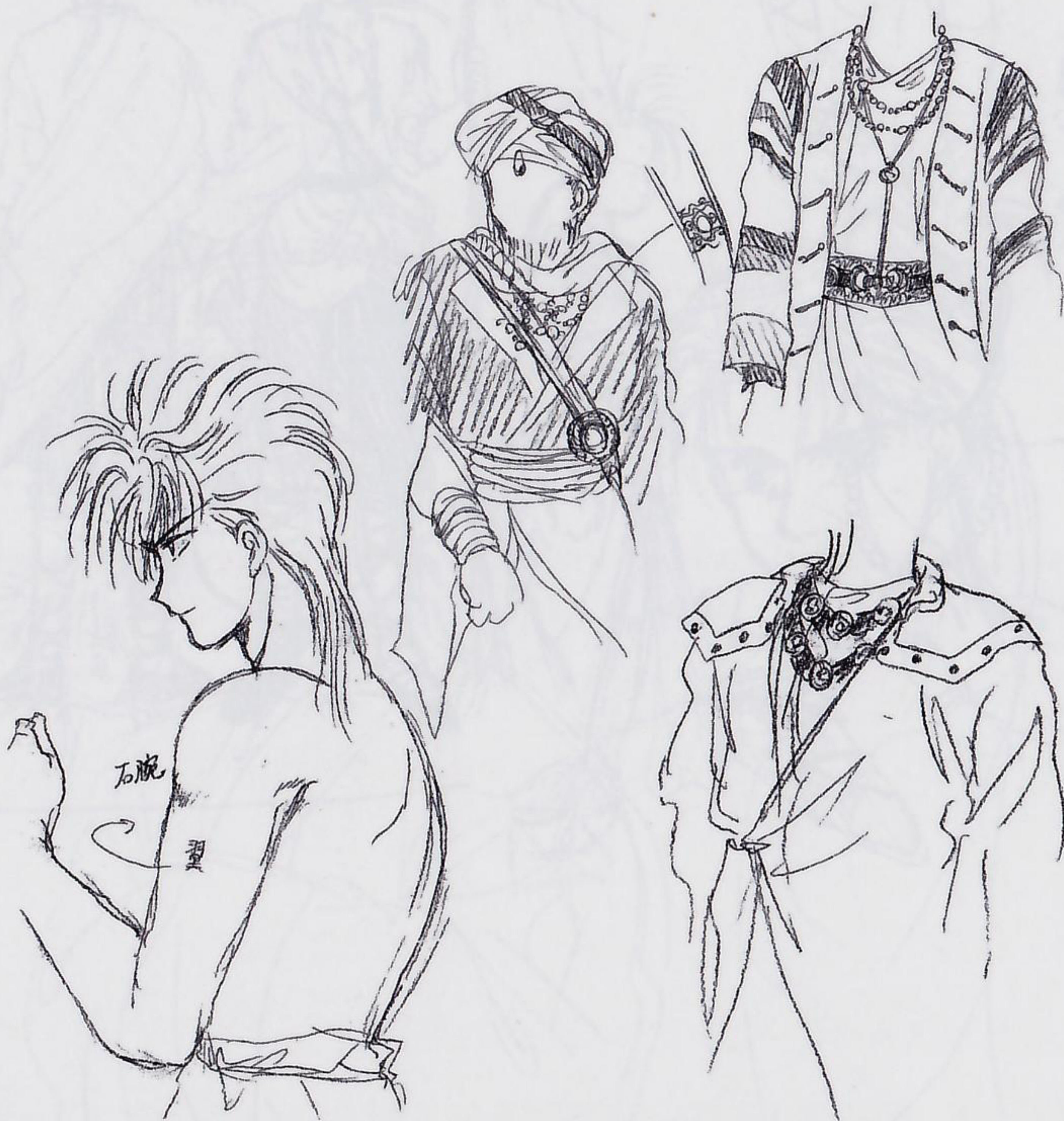
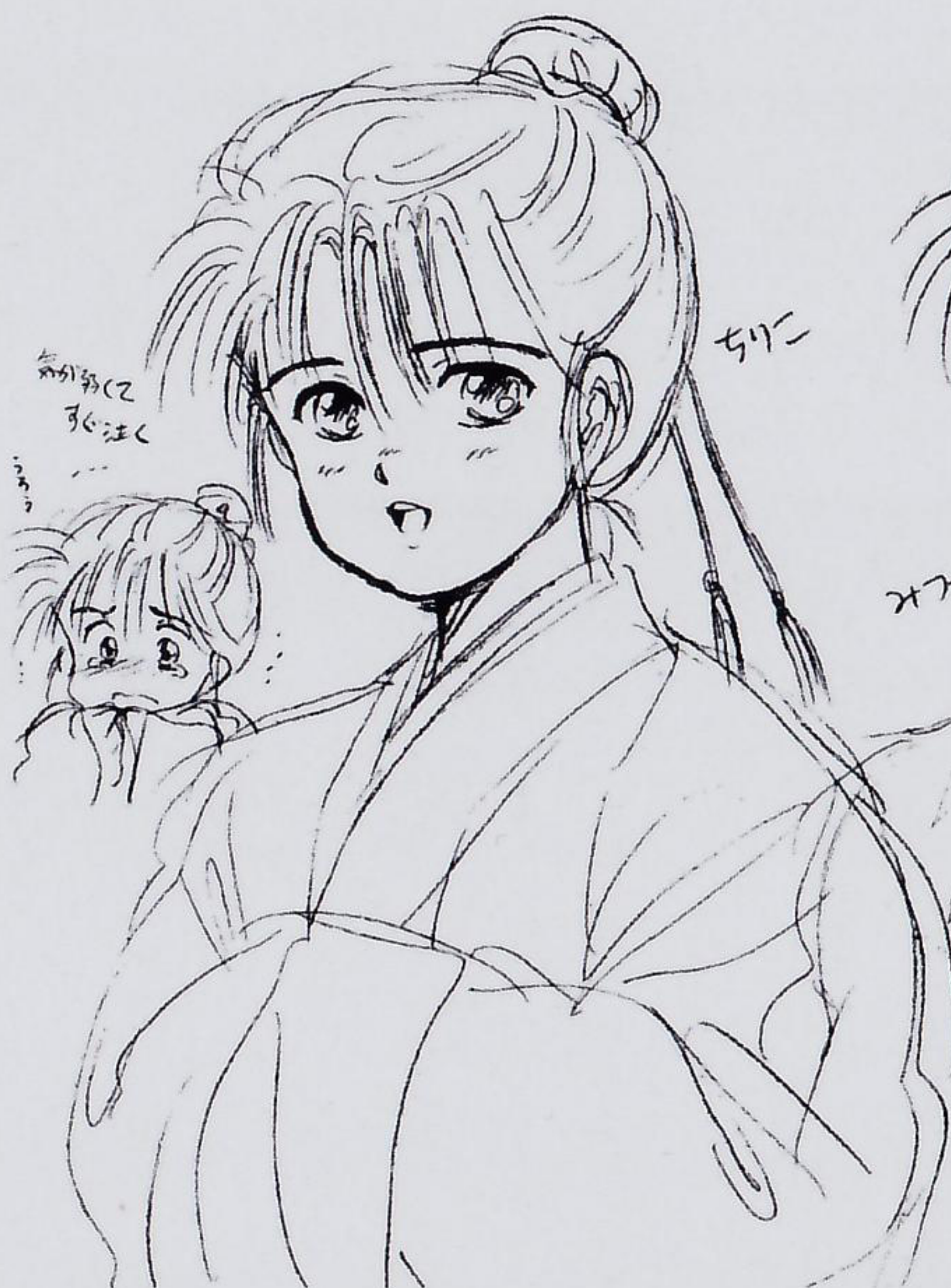
井宿
決定
ちちり
井宿
ムーン
1245
数珠
ベタ

井宿・軫宿・張宿

やっ。

気が弱くて
すぐ泣く
…

ちりこ

みつかけ

伝言

メッセージ

自分の作品で二度目、しかも昔から要望のありました、朱雀・青龍編がついにゲーム化…感慨深いです。主人公は変わりましたが、とても素直ないい子なので、「こんなタイプでも良かったなぁ」とか（笑）嬉しいのは、攻略対象になったことで本編で地味な位置だった？軫宿と張宿が大活躍してること！　あとは、それぞれのキャラが新鮮な部分を出してくれてて楽しめますね。会話に何度も笑えましたが、なんだかんだと明るい朱雀陣。青龍陣もちゃんと出てくるので（攻略できないものの）そちらのファンの方も喜ばれたんじゃないでしょうか？　個人的には心宿を落とし…たいとは思わないな、やっぱ（笑）なんにせよ、ずっと応援してくださる皆様のおかげです。

昔からの読者さんは「こうなるか！」の意外性を、初めての方は彼らが織り成す展開を。当初の私が今に輪をかけた未熟さながら、一生懸命描いた作品の世界をゼヒゼヒ何度も楽しんで頂ければ幸いです。

渡瀬悠宇